2024.4 — 2025.3
ARCHIVE of hacchi

hacchi

2024.4 — 2025.3
八戸ポータルミュージアム はっち の 歩み

目次

〇はっちについて 1
はっちのコンセプト・ミッション 2
〇はっちの運営方針 3
〇2024 年度　はっちの自主事業一覧 4

【事業プラン　つながりをデザインする】
まちぐみ事業 6
観光展示・ライブラリ事業 8
市民作家・はっちサポーター・放送スタジオ「びびすた♪」 9
こどもはっち（特定非営利活動法人はちのへ未来ネット） 10
はっちリレーショナル・プレスはちみつ Petit 11
【事業プラン　にぎわいをデザインする】
アーティスト・イン・レジデンス公募事業（AIR事業） 12
アーティスト・イン・レジデンス招聘事業（AIR事業） 13
共生社会プロジェクト「盆踊りディスコ」 15
パフォーミングアーツ公演事業 16
シーズンイベント事業 19
八戸三社大祭連携事業　お祭り in はっち 2024（シーズンイベント事業） 21
えんぶり in はっち 2024 （シーズンイベント事業） 22
横丁活性化事業　酔っ払いに愛を 2024 23
市民公募型ライブ（市民活動支援事業） 24
はっちがずっぱど南部弁（市民活動支援事業） 25
マチニワ賑わい創出事業 26
中心街イベント連携 27
マチニワイベント支援事業 28
貸館事業 30
【事業プラン　くらしをデザインする】
暮らし学アカデミー事業 32
グリーンプロジェクト はっちグリーンLabo. 35
はっち放送部 36
手しごと関連事業「天羽やよい展」 37
暮らふとマーケット 2024 38
ものづくりスタジオ支援事業 38

〇2024年度　はっちの運営について 40
〇2024年度　はっちの年表 45

はっちについて

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

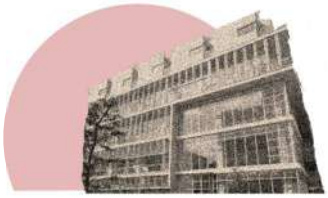
「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

地域の特徴を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平（こだいら）正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の一戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日（いちび）を表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特徴を表しています。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。

さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の一戸から九戸に囲まれている特徴を表しています。また、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台、からくり獅子舞仕掛時計の8つの頭など末広がりで縁起のいい「8」にこだわり取り組みました。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと888,888人目の入館者を迎えたのです。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、開館以来3つの事業を行っています。

会所場づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくります。

・こどもはっち
・はっちひろば
・リビング
・カフェ、ショップ ほか

貸館事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

・シアター
・ギャラリー
・各種スタジオ
・レジデンス ほか

自主事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、４つの柱に基づいた事業を展開します。

・中心市街地賑わい創出事業
・文化芸術活動支援事業
・ものづくり支援事業
・観光振興・ＦＭ（フィールドミュージアム）アクセス事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。

また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

●八戸のやる気をさらに引き出します
●まちの連帯感をつくります
●ほしいものがあるまちにします
●歩きたくなるまちにします
●八戸資源を再発見するきっかけをつくります
●八戸流の情報発信をします
●こどもからお年寄りまで共に育てあう場をつくります
●新しい価値と表現を生み出す場をつくります

はっちの運営方針

第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針 －未来を創ろう 2030－

八戸ポータルミュージアムは、２０１１年２月１１日に開館してから「はっち」の愛称で親しまれ、多くの市民に利用されると共に、歴史や文化などの地域資源を活かした新たな魅力と賑わいを生み出し、中心街活性化に努めてきました。

開館時に掲げた「新たな交流と創造の拠点として、賑わいの創出や、観光と地域文化の振興を図ることで、中心市街地と八戸市全体の活性化を目指す」というミッションを引き継ぎ、これまでの活動をベースに、次の１０年間を見据えた中期的な運営方針として２０２０年度に「八戸ポータルミュージアム第３期中期運営方針～未来を創ろう２０３０～」を策定いたしました。

１０年後の私たちの街八戸が、希望に満ちた街であるように、理想とする「８つの未来像」を描き、その実現のためのさまざまな取り組みにチャレンジしていきます。

目指す「8つの未来」

1.活動とコミュニティを豊かに
多様な活動とコミュニティが息づく街

2.創造的にチャレンジしよう
創造的なチャレンジに開かれた街

3.顔の見える経済を大切に
顔の見える経済を大切にする街

4.寛容と共生を価値に
寛容と共生を価値とする街

5.伝統を未来に受け継ごう
伝統が誇らしく受け継がれる街

6.子育てを楽しもう
子育てが楽しくなる街

7.緑を豊かに育もう
緑を豊かに育む街

8.情報を活かそう
情報の発信とアクセスに優れた街

相互に関連する「テーマ（主題）」と「スタイル（取り組み）」に基づき、戦略的に事業や施設運営に取り組むことで、「8つの未来」の実現を目指します。

２０２４年度 八戸ポータルミュージアム 自主事業

※本表掲載事業はイベントのみ。通年事業詳細は本文ページをご覧ください。

事業プラン	事業名		掲載ページ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
つながりをデザインする	まちぐみ事業	まちぐみラボの運営	6・7	通年											
		はっち×南部ひしざし　不定期開催		★4/21	★5/19	★6/16	★7/28	★8/18	★9/17	★10/20		★12/15		★2/16	★3/16
		はっち×南部ひしざし　イベント出店			★5/5			★8/31～9/16			★11/15～11/17				
		山車飾りづくり体験　不定期開催		★4/21		★6/16	★7/31、8/2、4、18			★10/20		★12/15		★2/16	
		山車飾りづくり体験　イベント出店			★5/5			★8/12、8/24			★11/15～11/17				
		ものづくり体験祭り						★8/18		★10/20					
		歩道補修促進事業													★3/5、3/12
		まちぐみ展10													★3/1～3/16
	市民作家・はっちサポーター	2024 杉本敦子 創の書 色紙展 PART Ⅻ デーリー文芸天位入選作品	9				★7/24～28								
	はっちミニレター はちみつPetit		11						★vol.3発行						vol.4発行★
にぎわいをデザインする	アーティスト・イン・レジデンス事業（公募）	アーティスト活動	12・13		★5/15～7/2					★10/27～11/3			★1/10～2/17		
		成果発表											★1/25～2/11		
	アーティスト・イン・レジデンス事業 （招聘）	舞台づくり学校 授業	13・14				★7/20、21、27、28、8/4、10、11、12、17、18、24								
		舞台づくり学校成果発表公演						★8/25～9/1							
		舞台づくり学校活動アーカイブ展示							★9/1～16						
	共生社会プロジェクト 「盆踊りディスコ」	工作ワークショップ	15					★8/8							
		盆踊りイベント						★8/23							
	パフォーミングアーツ公演事業	アウトリーチ、ワークショップ	16～18						★9/4			★12/4、5		★2/23、24、26	
		公演							★9/7、8			★12/7、8			★3/1、2
	シーズンイベント事業	〈4.5月〉マチニワこいのぼり展示	19・20	★4/20~5/7											
		〈5.6月〉アンブレラスカイ　ワークショップ			★5/5、18、19、26										
		アンブレラスカイ　展示				★6/1～7/7									
		〈7月〉七夕					★7/1～14								
		〈12月〉はっちのクリスマス									★11/30～12/25				
		〈1月〉はっちのお正月2025											★1/2、3		
	八戸三社大祭連携事業 お祭り in はっち 2024（シーズンイベント事業）		21				★7/23~8/18								
	えんぶり in はっち 2025（シーズンイベント事業）		22											★2/17~20	
	横丁活性化事業 酔っ払いに愛を 2024		23							★10/4~5					
	市民活動支援事業	市民公募型ライブ事業	24				★7/19	★8/24	★9/20	★10/18	★11/15	★12/20		★2/7	★3/7　★3/21
		はっちがずっぱど南部弁	25									★12/1			
	マチニワ賑わい創出事業	マチニワ大道芸2024	26・27			★6/8、9									
		ダンボール迷路＆積み木であそぼ！			★5/26						★11/23、24			★2/1、2	
		さくら野×はっち マチニワ京舞披露			★5/29、30										
		大型ビジョンで季節の合唱・合奏を発表しよう！		通年											
	中心街イベント連携	はちのへホコテン！館内テナント出店	27		★5/26	★6/30		★8/31	★9/29	★10/20					
	マチニワイベント支援事業		28	通年											
くらしをデザインする	暮らし学 アカデミー事業	基幹講座	32～34		★5/17、6/14、7/12			★8/8	★9/16		★11/2~4	★12/5、6	★1/31	★2/27、28	
						6/26、6/29★		★8/11、12		★11/17	★11/21、11/28	★12/22	★1/25		★3/7
		特別企画「大人に教えてみたいこと」							9/23★	★10/14					
	グリーンプロジェクト	はっちガーデンお手入れ隊	35		★5/12	★6/1	★7/14			★10/13					
		袋栽培でさつまいもを育てて収穫しよう			★5/19						★11/3、4、9				
	はっち放送部		36											3/5、7、8★	
	手しごと関連事業	天羽やよい展 名もなき南部女に捧げる刺しの花	37						★9/14~/29						
		天羽やよい展関連事業 天羽やよいトークイベント							★9/21						
		天羽やよい展関連事業 南部菱刺しアカデミックトーク							★9/22						
	暮らふとマーケット 2024		38								★11/23、24				
	ものづくりスタジオ支援事業	七夕・三社大祭軒下出店	38・39				★7/12～14								
							★7/31~8/4								
		クリスマスウィーク										★12/14～23			
		福袋市											★1/2~5		

まちぐみ事業

活動開始から10年目となる「まちぐみ」事業は、はっちと市内在住アーティスト山本耕一郎さんとのアートプロジェクト。八戸のまちなかに「なんか楽しそう」なことを創りだし、参加者の「やってみたい」をかたちにすることで、“まち”と関わるおもしろさや世代を超えた市民の交流を生み出してきた。2024年度は、八戸市中心街メインストリートである三日町・十三日町の歩道修理を試験的に実施。南部ひしざし体験や山車飾りづくりなど市民に向けたものづくり体験を多く実施した。組員による自主活動も活発になり、さらなる新規組員の加入に繋がっている。

■まちぐみラボの運営

まちぐみ組員の活動拠点として、本八戸駅通りに「まちぐみラボ」を開設し運営している。組員が「ラボ人」としてラボの清掃などの維持管理補助や来室者対応（まちぐみの説明や観光客等へのまち案内）などを担当し、市民との交流を行っている。また、新しい組員募集もラボとはっちのカウンターで随時行っており、ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録で誰でも加入できる(1,200円でＴシャツ購入、顔写真撮影あり)。
2024年度の加入者数は4月から25名増の648名となった。

■まちぐみ presents　はっち×南部ひしざし

2017年から始めた、はっちの備品に南部菱刺しを施す市民参加型アートプロジェクト。はっちの椅子は100脚が完成し、2020年から刺し始めたはっちのパーテーションは2枚目を製作しているほか、YS アリーナの椅子に南部菱刺しを施すワークショップを実施した。
短時間で体験できるため、小さいこどもから観光客までさまざまな方が参加し、実際に参加するよりも興味深く見学している方が多く、この事業で初めて津軽地方の「こぎん刺し」ではなく、「南部菱刺し」という伝統工芸を知ったという方もおり、地元文化の認知度向上に貢献している。小中高生のリピーターも多く、参加者同士の再会や近況報告などの場にもなっている。
また、1階カフェスペースを活用し、「南部ひしざし祭」を実施し、こたつカバーやパーテーションに南部菱刺しを施すワークショップやひしざしグッズの展示を行った。
南部菱刺しについて調査する八戸商業高校の生徒グループも、講師としてワークショップに参加した。

・実施日　毎月第3日曜日に不定期開催
　4月21日、5月5日、5月19日、6月16日、
　7月28日、8月18日、9月17日、10月20日、
　11月15日～17日、12月15日、
　2025年2月16日、3月16日
　8月31日～9月16日（南部ひしざし祭）
・時　間　11:00～15:00
・会　場　はっち1階
・講　師　山本耕一郎、八戸商業高校生、まちぐみ組員有志
・参加者　まちぐみ組員各回3名程度、
　一般参加者各回2～5名程度

■山車飾りづくり体験（俺達も三社大祭3）

昨年度に続き、白山台山車組から寄付いただいた10年以上前に使っていた「龍」のウロコを修復する取組みを実施。 1 体が完成し、本八戸駅通りに設置し、2体目の修復を行っている。
山車飾りづくりのプロセス（の一部）を体験してもらう取組み「絶対に食べてはいけないチョコバナナづくり体験」を実施。YS アリーナや南郷、南部町の祭りにも出展した。

・実施日　毎月第3日曜日に不定期開催
　4月21日、5月5日、6月16日、
　7月31日・8月2日・4日、
　8月12日、8月18日、
　8月24日、10月20日、
　11月15日～17日、12月15日、
　2025年2月16日
・時　間　11:00～15:00
・会　場　はっち1階、はっち前歩道、マチニワ
・講　師　山本耕一郎、まちぐみ組員有志
・参加者　一般参加者各回20名程度

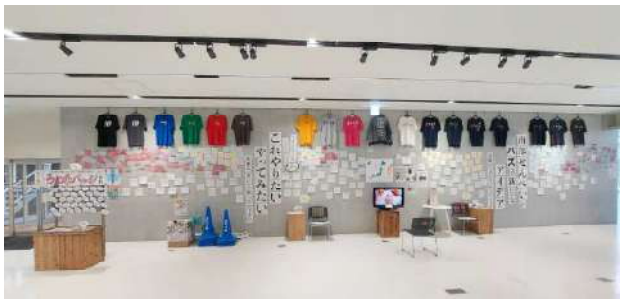
■ものづくり体験祭り

・実施日　①8月18日（日）
　②10月20日（日）
・時　間　11:00～15:00
・会　場　①はっち1階　シアター1
　②はっち1階　はっちひろば

■まちぐみ展10

まちぐみ10年間の活動をちょこっと振り返りつつ、これからの10年を見据えた「まちぐみ展10」を開催。「やりたいこと、やってみたいこと」、「南部せんべいがバズる新アイデア」を募集しながら展示していった。最終日には、南部ひしざし体験を実施。

・実施日　2025年3月1日（土）～3月16日（日）
　　※火曜日の休館日は除く
・時　間　9:00～21:00
　　※最終日は15:00まで
・会　場　はっち1階　ギャラリー1



■八戸市中心街　歩道補修促進事業

経年劣化が進む中心街メインストリートの歩道の補修作業を試験的に行った。まちぐみ組員や商店街関係者のほか、市民や商工会議所、まちづくり八戸、市役所職員などが各回15名程度参加。周辺の店舗と交流しながら実施した。

・実施日　2025年3月5日(水)、3月12日(水)
・時　間　10:30～12:00
・場　所　国道340号三日町・十三日町の歩道

観光展示・ライブラリ

はっち館内には、八戸市の観光の見どころをまとめた観光展示屋台をはじめ、からくり獅子舞時計、えんぶり人形など、八戸の地域資源を形作った市民在住作家による常設作品が設置されており、来館者に分かりやすく魅力的に八戸市の見所を紹介している。また、市民の知的関心や文化的な興味を喚起するライブラリも設置し、展示資料と書籍で広く八戸に関する情報に触れられるようになっている。

■観光展示屋台　展示更新

観光展示屋台の展示情報の変化や屋台本体の経年劣化に対処するため、観光展示屋台の展示更新を実施した。令和6年度は「酒と食」、「横丁・朝市」に2台を改修した。

［改修後の屋台　上)「朝市・横丁」 下)「酒と食」］

■館内ライブラリ

3階と4階に本棚を設置。2021年4月から2階の本棚を4階のリビングに集約することによりライブラリスペースとして充実させた。「誰でも気軽に手にとって楽しめる・読める」というコンセプトに重点を置き、アートや文化、当市にゆかりのある方の書籍はもちろん、さまざまなジャンルの雑誌を配架するなど来館者にとって利用しやすいライブラリとして展開。年1回棚卸を実施。

○各フロアのライブラリテーマ（通年）

3階：地元の文学者を知る・深める
　　八戸市出身の作家・三浦哲郎書籍コーナー
4階：八戸を知る・青森を知る・日本を知る、アートやデザイン、食やものづくり、画集、定期購読誌（全13誌）

市民作家・はっちサポーター

はっちは、観光展示を制作した市民作家たちのほか、さまざまな分野で活躍する市民が日々の運営にも協力をしている。彼らは、「はっちサポーター」というボランティアとして、館内展示をよりわかりやすく案内するガイド業務や八庵での色紙展示などを行っている。

■ボランティアガイド

はっちには、1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、ただ見ているだけでは気付けないポイントや魅力が多数あることから、各展示や展示に関連する観光地の魅力などを説明するため、毎日午前と午後に2名ずつのボランティアガイドを置いている。館内案内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは10代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちと市民をつなぎ、運営を支えている。

［小学校の見学にもボランティアガイドが活躍］

・ガイド登録者数　31 名
・ガイド常駐時間　9:00～17:00

■八庵色紙展示

市民作家の杉本敦子さんによる色紙を月ごとに更新展示している（月4枚×12か月）。

・実施日　4月1日～2025年3月31日
　　（期間中不定期に展示替えを実施）
・会　場　はっち3階 八庵

■2024 杉本敦子 創の書 色紙展 PART XⅢ
デーリー文芸 天・地・人位 入選作品

・実施日　7月24日（水）～7月28日（日）
・時　間　10:00～18:00
・会　場　はっち1階 シアター1
・来場者　約800人

放送スタジオ「びびスタ♫」

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」と想像するのもラジオならではの楽しみ方一つだが、はっち1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているコミュニティラジオ局 BeFM は、パーソナリティや出演者の表情も見ながらラジオ放送を楽しむことができる。お昼の時間に放送される「はっち i（インフォメーション）」のコーナーでは、はっちや中心街で開催されるイベント実施者が出演し、宣伝 PR を行っている。

・放 送 日 時　毎週月～金　11:30～15:00
　　※休館日を除く
・会　　場　はっち1階 放送スタジオ
・協　　力　コミュニティラジオ局 BeFM
・年間出演者数　約300名
・周　波　数　76. 5MHz

［はっちでイベントを開催する主催者がゲストで出演して楽しいトークを繰り広げる］

こどもはっち
（特定非営利活動法人はちのへ未来ネット）

こどもはっちは県産材の木の温もりをたっぷり感じながら遊べる、こどもと大人の交流空間。運営は八戸市こども未来課より委託された特定非営利活動法人はちのへ未来ネットが行っている。毎週末に工作や絵本の読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。家族同士の交流の場としてサークル活動や育児・子育て相談事業などを実施するとともに、各地域の子育て情報を発信している。6年度からは、あずかり保育事業や出張・訪問相談サービス、面会交流コーディネート事業を開始し、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全てのこどもたちが夢いっぱいに健やかに育つように、そしてこどもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみなさまからご協力いただきながら事業を行っている。

■転勤ママひろば（月１回程度、水曜日開催）
4月17日、5月22日、6月19日、8月21日、
10月23日、11月20日、12月18日、
2025年1月22日、2月19日

■どんぐりサークル（月１回程度、水曜日開催）
4月10日、5月15日、6月12日、7月17日、
9月11日、10月16日、11月13日、12月11日、
2025年1月15日、2月13日、3月12日

■おたんじょうび会（毎月１回、水曜日開催）
4月3日、5月8日、6月5日、7月10日、
8月29日、9月4日、10月9日、11月6日、12月4日、
2025年1月8日、2月5日、3月5日

■にこにこ広場（月１回程度、水曜日開催）
4月24日、5月29日、6月26日、8月28日、
9月25日、10月30日、11月27日、12月19日、
2025年1月29日、2月26日、3月13日

■はちのへおもちゃ病院（毎月１回、日曜日開催）
4月28日、5月26日、6月30日、7月21日、
8月25日、9月22日、10月27日、11月17日、
12月22日、2025年1月26日、2月23日、3月30日

■工作・おはなし会（4月～3月）
・工作：毎週金曜日・土曜日・日曜日・祝日開催
・おはなし会：毎週日曜日開催（イベント開 催 日 を除く）

■不登校・ひきこもり相談会（月１回程度、日曜日開催）
4月28日、5月26日、6月30日、8月25日、
9月22日、10月27日、2025年1月26日、2月16日、
3月30日

■プレパパ・プレママひろば（月１回程度、日曜日開催）
4月7日、5月12日、7月14日、9月8日、10月13日、
11月17日、2025年2月9日、3月16日

■オレンジデー（日曜日開催）
4月21日、6月2日、8月25日、10月20日、12月8日
2025年2月16日

■ふたごサークル（日曜日開催）
7月7日、9月15日、2025年1月5日、3月9日

■おやこ3B体操（月１回程度、月曜日開催）
4月15日、5月27日、6月17日、7月1日、8月26日、
9月30日、10月21日、11月18日、12月2日、
2025年1月20日、2月17日、3月17日

■親子でお茶会（土曜日開催）
4月20日、5月25日、6月29日、9月28日、10月26日、
11月30日、2025年1月18日、2月8日、3月15日

■おさがり掘り出し市
6月9日（日）、11月10日（日）

■特別企画

・4月14日（日）
ふたごさん・みつごさん・きょうだい いっぱい さるかに合戦！
・4月22日（月）
合同サークル「ご当地ワッフルを親子でつくろう」
・4月27日（土）～29日（月・祝） スペシャル工作デー①
・5月3日（金・祝）～6日（月・祝） スペシャル工作デー②
・5月5日（日） ファミリー運動会
・5月26日（日） わいわいパーク
・6月2日（日） いのちをいただく坂本義喜さん講演会

・6月6日（木）～9日（日）
ピカピカの1年生　入学おめでとう写真展
・7月11日（木）　RUKAわくわくコンサート
・7月21日（日）　まるごとこどもはっち夏まつり
・7月28日（日）　夏休み絵画教室
・7月31日（水）～8月4日（日）　おまつりうちわをつくろう！
・9月1日（日）　こどもはっち親子食育ひろば
・9月14日（土）　こどもはっち秋祭り
・9月18日（水）　バスで行く！やさい収穫体験ツアー
・10月14日（月・祝）
被爆ピアノ平和コンサート「未来へつなぐ平和の願い」
・10月27日（日）　ハロウィンパーティー
・11月3日（日・祝）　たいこでドコドン！
・11月8日（金）　八戸高等支援学校「パン販売会」
・11月9日（土）～15（金）　こどもはっちの七五三
・11月11日（月）名久井農業高校「特別販売会」
・11月23日（土・祝）、24日（日）
こどもはっち親子ワークショップ
・12月15日（日）　クリスマス会
・12月25日（水）　映画上映会
・1月12日（日）　小正月をお祝いしましょう
・2月1日（土）・2日（日）　まめまき会
・3月1日（土）・2日（日）　なりきりひなまつり
・3月2日（日）　おひな祭り会
・3月22日（土）・23日（日）
入学おめでとう記念！記念撮影して世界に一つ！
本の表紙になってみよう！

はっちミニレター **はちみつ Petit**

はっちでは毎日さまざまなプロジェクトやイベントが開催され、そこには多くのみなさまが関わり、日々新しい交流や発見が生まれている。ブログや SNS だけでは深く伝えきれないため、関わった方の顔の見える、生の声を届ける「はっちミニレター　はちみつ Petit（プチ）」を発刊している。

はっちで実施されているプロジェクトや取り組んでいる活動、市民のみなさんの活動について詳しく伝えている。

・発行部数　vol.3　7,000部
vol.4　7,000部
・仕　　様　B5仕上がり巻き三つ折り、フルカラー
・配 布 先　中心街や市内外の公共施設、道の駅など
・発行時期　10月（3号）、2025年3月（4号）

［上）はちみつ Petit3号　下）はちみつ Petit4号］

アーティスト・イン・レジデンス公募事業（AIR事業）

八戸の地域資源に焦点を当て、まちの新しい魅力を創り出すために、さまざまなアーティストの視点で地域の魅力を掘り起こし、市民がアートに触れ、体験する機会を増やし、新たな発見や驚き、感動を生み出すことを目的としている。2024年度の公募では、50組の中から今井さつきさんを選考。今井さんの「人間ノリ巻き」と八戸の魅力を融合させたプロジェクトを実施した。

■今井さつき「人間ノリ巻き in 八戸～八戸の皆さん 巻かさってください！～」

八戸の魅力を「人間ノリ巻き」の「具材」として作り、市民のみなさんも一緒に巻き込み、「人間ノリ巻き」を完成させる。また、八戸の食用菊の文化や八戸独自の巻物「菊巻き」を掘り起こし、地域に根ざす食文化やそこに息づく人々の姿を追うプロジェクト。

○八戸の食材のリサーチ

八戸の名所を訪問し、地域の食文化の調査を実施。6月30日のはちのへホコテンにも出店し、人間ノリ巻きを体験してもらいながら、市民のみなさんから八戸の魅力的な食材について伺った。

・実施日　5月中旬～7月上旬

○八戸の郷土料理「菊巻き」のリサーチ

八戸の郷土料理「菊巻き」に着目し、人間ノリ巻きの八戸版として「巨大菊巻き」を制作するための調査を実施。菊の生産や加工、製品作りに関わる人を訪ね、実際に作業を体験。市民を対象に食用菊の情報や、家庭での調理法の聞き取り調査も実施。

○「人間ノリ巻き」具材公開制作

人間ノリ巻き用の八戸の具材と、巨大菊巻きの公開制作を実施。

・実施日　2025年１月11日（土）～13日（月）、
　　15日（水）～18日（土）、22日（水）
・時　間　10:00～12:00／13:30～16:30
・会　場　はっち1階　放送スタジオ前
・参加者　22名

○「人間ノリ巻き」活動記録展

これまでリサーチした活動の様子や、八戸の食用菊の歴史や菊農家や加工現場、菊巻き作りについて取材した内容をまとめ、パネルや動画で報告。制作した巨大ノリ巻きと菊巻きも展示。

・実施日　2025年1月25日（土）～2月11日（火・祝）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　3階 和のスタジオ

○菊巻きとフキの恵方巻きをつくろう

八戸の人でも作る機会の少ない「菊巻き」の作り方を学ぶ講座。活動記録展で食用菊の歴史や菊巻きがどんなものかを今井氏から解説後、講座を実施。菊巻きのほか、節分の時期に合わせ、恵方巻きの講座も実施。

・実施日　2025年1月25日（土）
・時　間　13:30～15:00
・会　場　3階 和のスタジオ、5階　共同キッチン
・講　師　薬膳わたすげ　山本康子
・料　金　2，000円
・定　員　10名

○巻かさってみよう！人間ノリ巻き体験

制作したノリ巻きや菊巻きに、市民が具材として巻かれるイベントを実施。今井氏が板前に扮し、参加者を具材として巻き、巻かれた参加者の写真をメニュー表として掲示。

①はっちでノリ巻き／②出張！ノリ巻き

・実施日 ①2025年１月26日（日）、2日（日）
　　②2025年2月8日（土）、9日（日）

・時　間 ①10:00～12:00／13:00～15:00
　　②13:00～17:00

・会　場 ①3階 和のスタジオ
　　②YSアリーナ八戸 2階ホワイエ

・参加者 257名

アーティスト・イン・レジデンス招聘事業（AIR事業）

はっちのアーティスト・イン・レジデンスでは、八戸の地域資源に焦点を当て、まちの新しい魅力を創り出すために、さまざまなアーティストの視点で地域の魅力を掘り起こすプロジェクトを行なっている。市民がアートに触れ・体験することで、新たな発見や驚き、感動を生み出すことを目的としている。2024年度は、ダンスカンパニーのプロジェクト大山を招聘し、舞台芸術に興味をもってもらい、さらに表現者として自身が舞台に立つことで、自由な発想で身体を動かすことへの喜びや、表現することの楽しさを知るきっかけづくりを目的とし、参加者が実際に舞台を作り上げるプロジェクトを実施した。

■キッズダンスプロジェクト

「ダンス公演をつくろう！舞台づくり学校」

音楽、衣装、ダンスの3つをテーマに、それぞれの専門家が先生となって授業を実施。公募で集まった小学生15名が最終公演に向けて、身近な音を集めた音楽作りや自身の着用する衣装の制作、体を動かす授業から、振付けを考えるプログラムに参加した。先生からの助言をもらいながら、こどもたちの自由な発想を大事にした舞台を作り上げた。

・実施期間 7月20日（土）～9月16日（月・祝）

・参 加 者 小学生 15名

○開校式/身体を動かしてみよう

プロジェクト大山の公演を例に、舞台公演ができあがるまでにどんな流れでどんな人たちが関わっているのか基本的な流れを勉強。身体を動かすゲームでコミュニケーションをとり、自分の身体がどのように動くのかを探るワークショップを実施。

・実施日 7月20日（土）

・時　間 13:00～15:00

・会　場 はっち5階 共同スタジオ

○舞台公演をイメージしてみよう

自身が踊る宇宙人のキャラクターを考えるワークショップを実施。言葉やイラストでキャラクターの特徴を書き出しながら想像を膨らませながら、イメージシートを制作。

・実施日 7月21日（日）

・時　間 13:00～15:00

・会　場 はっち5階 共同スタジオ

○衣装をつくろう

衣装デザイナーの仕事内容について学ぶワークショップ。イメージした宇宙人のキャラクターを元に表現したいポイントを3つに絞り、具体的にデザイン画に落とし込みながら、自身の着る衣装を制作。

・実施日 7月27日（土）、28日（日）

・時　間 10:00～12:00、

・講　師 よこしまちよこ（衣装デザイナー）

・会　場 はっち5階 共同スタジオ

［左）舞台公演をイメージ　右）衣裳をつくろう］

〇音を集めて音楽をつくろう

身の回りの音を集め、公演で使用する曲を制作する。高い・低い・長い・短い、の4つの項目を意識して、はっち館内で音を採集。集めた音に音階やリズムをつけて宇宙人を表現する曲を制作。挿入歌の創作も行った。

・実施日　8月10日（土）、11日（日）
・時　　間　13:00～16:00、
・講　　師　武田直之（音楽家・DJ）
・会　　場　はっち5階　共同スタジオ

〇オープニング・エンディングを踊ってみよう
／ 振付けを考えよう

オープニング、エンディングの振付けを覚え、中間のチームダンスはこどもたち自身で設定した宇宙人を表現するためのダンスを振り付けた。一つの動きを、大きく・柔らかく・ゆっくりなど、さまざまなバリエーションで変化をつけ、動きの材料を作りながらアレンジを加え、ダンスを制作。

・実施日　7月27日（土）、28日（日）　10:00～16:00
　　8日4日（日）　10:00～16:00
　　8月10日（土）、11日　10:00～16:00
　　8月12日（月・振）、17日（土）、18日（日）、
　　24日（土）　13:00～17:00
・会　場　はっち5階　共同スタジオ

■舞台づくり学校成果発表公演「15 の星のものがたり」

1か月半に渡り舞台づくりについて学んだ成果を発表するダンス公演。

・会　場　はっち2階　シアター2

〇稽古

・実施日　8月25日（土）13:00～17:00
　　8月30日（金）17:00～19:00

〇ゲネプロ

・実施日　8月31日（土）
・時　　間　11:00～17:00

〇本番

・実施日　9月1日（日）
・時　　間　14:00～14:45

〇閉校式

・実施日　9月1日（日）
・時　　間　16:30～17:30

■舞台づくり学校活動アーカイブ展示

舞台づくり学校のこれまでの活動をまとめた記録展示を開催。こどもたちそれぞれのアイデアが詰まったデザインシートや活動動画を展示。

・実施日　9月1日（日）～16日（月・祝）
・時　　間　9:00～21:00
・会　　場　はっち2階　ギャラリー2

共生社会プロジェクト
盆踊りディスコ

共生社会創出プロジェクトでは、文化芸術をツールに、多様な人々とのコミュニティを形成しながら、年齢や障がいの有無などに関わらず、等しく文化芸術に触れ、関わる機会を創出することを目的としている。初開催の今回は、障がいの有無、年齢に関わらず、音楽と踊りをみんなで一緒に楽しむ盆踊り企画を実施。

■盆踊りディスコ

障がいのある人もない人も、大人もこどもも、みんなが一緒に安心して参加できる盆踊りを実施。地域で大事にされてきた「八幡馬」などの盆踊りのほか、ポップスなどの創作盆踊りも交え、踊りとリズムを自由に楽しむ盆踊りを初めて開催。

・実施日　8月23日（金）
・時　間　13:00～15:00
・会　場　はっち1階はっちひろば、ギャラリー1
・参加者　73名（障がい者施設関係38名）
・講　師　プロジェクト大山、泉彩菜

○お楽しみショータイム

和楽器の生演奏や日本舞踊の舞台を間近で見られるショータイムを実施。

・出　演　泉流彩菜会

○リズム遊び

手作りの打楽器で音を出し、リズム作りを楽しむワークショップを実施。

・出　演　オトノワコネクト

○小道具をつくろう！工作ワークショップ

盆踊り本番に使用する衣装や楽器など、盆踊りの雰囲気を盛り上げる小道具作りのワークショップを実施。

・実施日　8月8日（土）13:00～16:00
・場　所　はっち1階はっちひろば
・講　師　オトノワコネクト（楽器作り）
・参加者　約40名（放課後デイサービス 2 施設含む）

［協力］
・八戸学院大学　健康医療学部　人間健康学科　大木ゼミ
・2023年度AIR「舞台づくり学校」参加キッズダンサー

パフォーミングアーツ公演事業

はっちのシアター2を会場として、全国公募により、57組から選ばれたパフォーマーの公演を年3回開催。公演のほか、学校などへのアウトリーチやワークショップも実施し、参加者を公演に招待した。質の高い芸術鑑賞の機会を八戸で増やすことで、地域の文化振興や新たなパフォーミングアーツのファンの増加へと繋げること、そして、市民がパフォーマーと交流する中で、舞台芸術の楽しさを体感し、身体で表現することへの興味・関心を持ってもらうことを目的としている。

アフタートークで観劇のおもしろさを深める
パフォーミングアーツ公演事業では、観劇体験により興味を持ってもらえるように、アウトリーチのほか出演者によるトークイベントも開催。

■演劇公演 「谷繋2」

独居老人であった父の遺言書に「すべてを“谷繋”に譲る」とだけ書いてあった。誰も住んでいないはずの家に中にいたソイツラとのやり取りの中で、親子愛や夫婦の情愛を垣間見る、落語の人情噺のような作品。

・実施日　①9月7日(土)18:00～19:10
　　②9月8日(日)14:00～15:10
　　※8日はアフタートーク(20分程度)を実施
・実　施　タテヨコ企画
・料　金　一般2,500円、25歳以下1,500円
　　小・中・高校生 1,000円、シルバー2,000円
　　※早割一般のみ2,000円
　　※当日各500円増
・来場者　①45名　②26名　※招待者含む

○アウトリーチ
生徒の引いたカードに書かれたお題に沿って表現し、発表を見たほかのチームの生徒が当てる、という生徒の想像力を最大限に引き出したアウトリーチを実施。
・実施日　9月4日(水)13:10～13:55、14:05～14:50
・会　場　八戸市立鮫中学校
・参加者　計38名

■演劇公演 「声」

ミュージカル、朗読劇、パントマイム要素を活用した「声」にまつわる短編集(見ざる・言わざる・聞かざるの三猿、サラリーマンの日常、アシクサというお手伝いロボットとのやりとり)をベヒシュタインピアノの生演奏に合わせ上演した。

・実施日　①12月7日(土)14:00～15:30
　　②12月7日(土)18:00～19:30
　　③12月8日(日)11:00～12:30
　　※8日はアフタートーク(20分程度)を実施
・実　施　PANCETTA(パンチェッタ)
・料　金　一般2,200円、中・高校生1,000円、
　　小学生500円
　　※早割一般のみ2,000円
　　※当日一般のみ300円増
・来場者　①30名　②30名　③29名　※招待者含む

○アウトリーチ
輪になって震源地となる一人の動きを全員で真似て、鬼が震源地を見つけるゲーム、言葉を使わずお題を伝える伝言ゲームの後、チーム別に言葉を使わない寸劇を創作し発表した。
・実施日　12月4日(水)5日(木)10:30～12:00
・会　場　八戸市立北稜中学校
・参加者　58名

〇演劇部員向けワークショップ

市内高等学校の演劇部員向けのワークショップを開催。4校から集まった生徒が声を使わずに、相手の名前を呼びあうワーク・伝言ゲーム・寸劇の創作発表をした。

・実施日　12月4日（水）17：00～19：00
・会　場　はっち2階　シアター2
・参加者　14名

■演劇落語公演 「宿屋の仇討・抜け雀」

古典落語の話芸と演劇の身体性を融合して2人芝居で贈る新しいエンターテインメント演劇。2人で演じる演劇落語に何人もが同時に登場する「宿屋の仇討」と、妙な客を泊めて妻に怒られっぱなしの主の誠実さが結実する奇跡の物語の「抜け雀」を二本立てで上演。

・実施日　①2025年3月1日（土）　14：00～15：40
　　②2025年3月2日（日）　14：00～15：40
　　※2日はアフタートーク（20分程度）を実施
・実　施　アトリエ・センターフォワード
・料　金　一般2,000円、大学生・専門学校生1,500円
　　高校生以下1,000円
　　※早割一般のみ1,800円
・来場者　①35名　②58名

〇戯曲執筆体験ワークショップ「戯曲を作ってみよう」

作家・劇作家志望の方向けに、脚本づくりの考え方を教わり、短い作品を一緒に作るワークショップを実施。

・実施日　2月23日（日）13：00～17：00
・会　場　はっち5階　レジデンスA
・参加者　3名

〇演技ワークショップ「演技を動詞で考える」

基本的な演技を中心とし、生き生きと演じるためのワークショップ。声を出さず背中を触って感情を伝えるワークや、台本を使った演技など細かい指導を受けた。

・実施日　2025年2月24日（月・祝）13：00～17：00
・会　場　はっち2階　シアター2
・参加者　5名

〇アウトリーチ

順番に指定した数字以外を声に出して足踏み、後ろ向きの人にあいさつをし、呼ばれたと思う人が振り向くゲームを通し、「聴く」力を付けるアウトリーチを実施。

・実施日　2025年2月26日（水）
　　9：30～11：30
・会　場　八戸市立鮫中学校
・参加者　38名

●アウトリーチ・ワークショップ体験者のこえ

●アウトリーチに参加して演劇への興味を持ちました。前までは見ているだけで楽しいなと思っていましたが実際に演劇をやってみて私は前に立つのが苦手なタイプだったけどとても楽しくて前に立つのがワクワクしていました。こういう気持ちは初めて感じたのでとてもいい経験になったなと思いました。《演劇公演「谷繋２」アウトリーチ参加　中学生》

●今まではセリフを覚える、感情をしっかり込めて演じることを意識していたけど、セリフだけでなく、表現の仕方をたくさん教わることができてとても楽しかったです。ほかの高校の人とも関わることができてよかったです。《演劇公演「声」演劇部員向けワークショップ参加　高校生》

●少し恥ずかしかったけど、自分の素を他人に見せるのはけっこういいなと思いました。
●ふだんみんなに見せてない自分を思い切ってだせてよかった。思い切ってだしきったほうがとても楽しかったです。この授業を普段の生活に生かしてみたいです。
《演劇落語公演「宿屋の仇討・抜け雀」アウトリーチ参加　中学生》

●公演鑑賞者のこえ

●なんだこのラスト!とびっくりしました。ずーっと谷繋ってなんだ？と考えさせられました。これからもずっと考えるでしょう。おもしろかったです!
●舞台のつくり方にびっくりした。劇っていいですね。
《タテヨコ企画演劇公演「谷繋２」》

●音楽、表情、声、動作でここまで感動させられるなんてすごい。また見たい。おもしろかった！
●こんなに原始的でミニマムな空間と設備で、４人の身体と声だけでこんな没入感をつくれるのはすごいことだと思いました。本当にすばらしいです。感動しました。
《ＰＡＮＣＥＴＴＡ演劇公演「声」》

●とにかく初めから最後まで笑いが止まらず、今までの落語と違いとにかく面白いとしかいいようがない、動きがすごくパワーがあるのでびっくりしました。
●すごくおもしろかった。演技力にも魅せられましたしお二人のエネルギーが会場を巻き込んですっかり引き込まれました。
《アトリエ・センターフォワード演劇落語公演「宿屋の仇討・抜け雀」》

シーズンイベント事業

その時期ならではのイベントや館内装飾を開催することで季節感を演出し、関係団体と連携しながら、中心街の賑わい創出を目的とする。また、さまざまなジャンルの市民団体に出演してもらい、日々の活動の成果を市民のみなさんの前で発表する場にもなった。

〈春のシーズンイベント〉

■マチニワこいのぼり展示

マチニワにこいのぼりを展示。

・実施日　4月20日（土）～5月7日（火）
・時　間　6:00～23:00
・会　場　八戸まちなか広場 マチニワ

■アンブレラデコレーションワークショップ

拾得物の傘を活用し、市民にデコレーションをしてもらうワークショップを実施。今回ははっち、マチニワのほかに、JR本八戸駅とも連携し、ワークショップにはJR東日本の社員の方も参加。

・実施日　5月5日（日）、18日（土）、19日（日）、26日（日）
・時　間　10:00～15:00
・会　場　はっち1階 はっちひろば、マチニワ
・参加者　203名（作品数122本）

■アンブレラスカイ

マチニワには透明感のあるカラフルなビニール傘を、はっちコートには5月のワークショップで市民のみなさんがデコレーションを施した傘を展示。

・実施日　6月1日（土）～7月7日（日）
・会　場　はっち1階 はっちコート、
　　八戸まちなか広場 マチニワ
　　JR本八戸駅

〈はっちの七夕〉

■たんざくコーナー＆吹き流し展示

来館者が願いを込めた短冊を飾った笹と吹き流しを展示。

・実施日　7月1日（月）～14日（日）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 放送スタジオ前、外壁

■なつかしの八戸七夕まつり写真展

和井田登さんの撮影した、昭和43年の八戸七夕まつりの写真を展示。

・実施日　7月3日（水）～14日（日）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 カフェスペース

■天の川イルミネーション

中庭に天の川をイメージしたイルミネーションを設置。

・実施日　7月8日（月）～14日（日）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 はっちコート

■七夕お抹茶カフェ

氷点での冷たいお抹茶がいただけるカフェを実施。

・実施日　7月13日（土）
・時　間　16:00～20:00
・会　場　はっち1階 カフェスペース
・料　金　300円
・実　施　江戸千家中丸社中
・参加者　170名

〈はっちのクリスマス〉はっちのクリスマス

■クリスマスライトアップ

はっちとマチニワをクリスマス仕様に装飾。

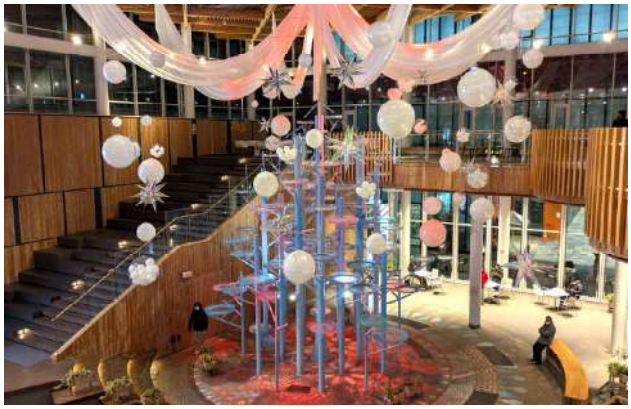
・実施日　11月30日（土）～12月25日（水）

〇クリスマスツリー（はっちひろば）

〇はっち　外壁ライトアップ

〇はっち　中庭イルミネーション（はっちコート）

〇マチニワバルーンデコレーション（マチニワ）



■クリスマスツリー点灯式

クリスマスツリーの点灯式では、こどもたちによる歌や楽器の演奏を実施。

・実施日　11月30日（土）　17:00～

・出　演　千葉学園　千葉幼稚園

■ステンドグラスワークショップ～煌めきと温もりと～

冬やクリスマスモチーフのステンドグラス雑貨を作るワークショップ。

・実施日　12月1日（日）

①10:00～12:00　②13:30～15:30

・会　場　はっち3階　ギャラリー3

・講　師　Stainedglass～komado～　木鎌　里香

・料　金　3，000円／2，600円／2，000円

・参加者　14人

■クリスマス料理教室～簡単！カラフル！野菜料理～

自宅で再現可能なクリスマスの野菜料理講座。

・実施日　12月14日（土）

①10:00～12:00

②13:30～15:30

・会　場　はっち4階　食のスタジオ

・講　師　ビストロSukegawa　助川　美里

・料　金　1，000円

・参加者　16人

〈はっちのお正月2024〉

■新春ステージ

お正月の雰囲気に合わせたステージイベントを実施。

・実施日　2025年1月2日（木）、3日（金）

・時　間　2日　11:00～14:00

3日　11:00～13:00

・会　場　はっち1階　はっちひろば

・出　演

〈2日〉八戸東高等学校書道部、創作太鼓　響×向陵高等学校太鼓部、小坂勝義・小柴社中一座、霾神社法霊神楽保存会

〈3日〉泉流彩菜会、直派分家若柳流柳永会、正派若柳流千代邦会、泉流紫峰会、正派若柳流薫邦会、櫻川流江戸芸かっぽれ、インフィニート・コラルコ弦楽合奏団

■新春祝い！はっちみくじ

八戸にちなんだ景品が当たるおみくじを設置。

・実施日　2025年1月2日（木）、3日（金）

・会　場　はっち1階　ギャラリー1

・参加者　約560人

八戸三社大祭連携事業
お祭り in はっち2024

令和6年度は小太鼓体験や市民手作りのミニ山車を展示するなど市民参加型の企画を実施した。またマチニワでは山車を展示した。
・実施日　7月23日（火）～8月18日（日）

■ミニ山車展示
市民手作りのミニ山車を展示。
・展示期間　7月31日（水）～8月15日（木）
・会　　場　はっち1階 はっちひろば
　　放送スタジオ前（8月5日以降）

■小太鼓体験　たいこでドン！
お囃子の映像と合わせて小太鼓をたたいてもらった。
・体験日時　7月31日（水）～8月4日（日）
　　9:00～17:00
・会　　場　はっち1階 シアター1

■重要無形民俗文化財20歳記念　誰でも分かる八戸三社大祭
柏井学芸員が八戸三社大祭について分かりやすく解説。座学講座の後で法霊山靈神社の見学も行った。
・日　時　8月4日（日）　9:30～12:00
・会　場　はっち2階 シアター2
　　法霊山靈神社
・講　師　柏井容子学芸員（八戸市教育委員会社会教育課）

■山車展示 in マチニワ
山車展示と合わせてお囃子の披露も実施。
・展示期間　7月23日（火）～8月18日（日）
・会　　場　マチニワ
・協　　力　はちのへ山車振興会

■山車展示 in マチニワ　お囃子披露
・日　　時　8月15日（木）　①17:30～　②18:00～
・会　　場　マチニワ
・出　　演　類家山車組

■展示：三社大祭について知ろう！
笹の葉踊り復活20年目！笹の葉踊りについて聞いてみた。
三社大祭の歴史や祭り期間中に行われる騎馬打球などの紹介のほか、令和 6 年度は2004年に復活した笹の葉踊りの特集展示を実施。祭りのなかで世代を越えて受け継がれる伝統芸能について取材し、パネル展示として紹介した。
・展示期間　7月31日（水）～8月4日（日）
・会　　場　はっち1階 ギャラリー1、はっちひろば
・協　　力　藤間流佐由理の会

［ 左）取材の様子。踊りとお囃子の練習　上）パネル展示（部分）］

えんぶり in はっち 2025

中心街等で開催される「八戸えんぶり」の気運を高めるため、マチニワでえんぶり公演を開催したほか、例年好評だった着付け体験やえんぶりクイズ、衣装展示を実施した。また、色画用紙でえぼしづくりや、ものづくりスタジオによる「えんぶり」をテーマとしたワークショップを開催。

・実施日　2025年2月17日（月）～20日（木）

■えんぶりタペストリー・衣装展示

マチニワえんぶり公演に出演した組の衣装や小物などを展示。

・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 はっちひろば

■マチニワえんぶり公演

マチニワで1日2組がえんぶり公演を実施。

・時　間　①12:00～ ※17日のみ13:30～
　　②17:00～
・会　場　八戸まちなか広場 マチニワ
・出　演　名川中学校、市庁郷土芸能保存会、
　　櫛引上えんぶり組、細越えんぶり組、
　　東十日市えんぶり組、日計えんぶり組、
　　新組えんぶり組、十一日町えんぶり組

■冬の八戸を元気においしいあったかイベント

八戸工業大学学生が提案し、令和5年度「元気な八戸づくり若者シンポジウム」において市長賞を受賞したイベント「冬の八戸を元気に！おいしいあったかイベント」を、一斉摺りに合わせマチニワで実施。

・実施日　2025年2月17日（月）
・時　間　10:30～　無くなり次第終了
・会　場　八戸まちなか広場 マチニワ

■えんぶり着付け体験

えんぶりで使用している太夫と祝福芸の衣装着付け体験を実施。

・時　間　17日（月）10:00～16:00（受付終了15:30）
　　18日（火）～20日（木）10:00～15:00（受付終了14:30）
・会　場　はっち1階 シアター1
・講　師　山路利津子着付け教室講師会
・料　金　300円
・参加者　111 名（4日間合計）

■目指せえんぶりマスター　えんぶり問題に挑戦！

えんぶりのパネルをヒントにクイズラリーを実施。正解者には、オリジナルシールをプレゼントした。

・時　間　9:00～17:00
・会　場　はっち1階 ギャラリー1
・参加者　414人（4日間合計）

■顔出しパネル

えんぶりの顔出しパネルを設置。

・実施日　2025年2月15日（土）～20日（木）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 シアター1、はっちひろば付近

■えんぶりシアター

過去のえんぶりの映像を放映。

・実施日　2025年2月15日（土）～20日（木）
・時　間　9:00～21:00
・会　場　はっち1階 シアター1

■ものスタ出店

17日ははっちの軒下にCafe＆Bal Roastとおもちゃハウスくれよんが、17日・18日はギャラリー1にひつじの夢工房、工房「澄」、和布工房ayaが出店。※軒下は17日のみ。18日～20日はおもちゃハウスくれよんがギャラリー1に出店。

・時　間　10:00～15:00
・会　場　はっち1階 軒下、ギャラリー1

■えんぶりワークショップ

○色画用紙でえぼしをつくろう！

「どうさいえんぶり」と「ながえんぶり」の違いを学びながら、色紙でミニえぼしを作る体験教室を実施。

・実施日　2025年2月17日（月）～20日（木）
・時　間　10:00～　※材料がなくなり次第終了
・会　場　はっち4階 リビング4
・料　金　300円
・参加者　60名（4日間）
・協　力　NPO法人はちのへ未来ネット

○モザイクタイルでコースターづくり

えんぶりイメージのコースターづくりを実施。

・実施日　2025年2月17日（月）～20日（木）
・時　間　10:00～12:00
・会　場　はっち4階 リビング4
・料　金　880円～

横丁活性化事業
酔っ払いに愛を 2024

八戸市中心街には昔ながらの路地に小さな居酒屋や飲食店などが軒を連ねる個性的な「横丁」が8つある。八戸ならではの魅力と文化を市内外へ発信するとともに、市民の横丁文化への誇りと愛着を育て、次世代に繋げていきたいという思いの取組みである。

■八戸横丁月間 酔っ払いに愛を2024

毎年10月の「八戸横丁月間 酔っ払いに愛を」では、横丁の魅力を存分に堪能してもらうべく、参加団体が期間内に「横丁」や「お酒」に関するイベントを主催・実施。

・実施期間 10月1日(火)～10月31日(木)
・参加団体主催イベント:
第12回日本全国地酒で乾杯！／横丁オンリーユーシアター2024／八戸さんぽマイスターと行く横丁特別編～八戸横丁ラビリンス探訪～／今夜はハシゴしNight！横丁連合＋@飲みだおれラリー／三陸国際芸術祭2024三陸芸能大発見サミット／Robphotons LIVE MUSIC
・八戸横丁月間応援店 35店舗

■八戸横丁月間 酔っ払いに愛を
～横丁オンリーユーシアター2024～

八戸市中心街にある8つの横丁にある空き店舗や路地を劇場に見立て、市内・県内外のアーティストがパフォーマンスを繰り広げるアートプロジェクト。横丁各所を回遊するアーティストも登場。2024年度は15回目の開催ということもあり、青森・八戸に関係のあるアーティストを選出し、9組のアーティストが出演。コロナ禍以前に実施していたワンドリンク引換券付きの回数券チケットを復活させ、お酒片手に公演を楽しめる以前の形へと戻した。

○「横丁オンリーユーシアター2024」開催PRライブ

・実施日 9月20日(金)
・時　間 19:30～20:10
・会　場 八戸まちなか広場 マチニワ
・出　演 OTOMEOTO
(「酔っ払いに愛を」公式ソングアーティスト)
DANCE WAG
(「横丁オンリーユーシアター」出演アーティスト)
※「はっち FRIDAY LIVE！」(18:00～19:30)と合同実施

○公開ゲネプロ

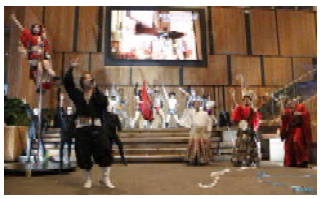
・実施日 10月3日(木)
・時　間 ①11:00～11:50 ②13:00～13:50
・会　場 八戸まちなか広場 マチニワ
・出　演 ①鷹島姫乃 ②五十嵐ゆうや

○オープニングイベント

・実施日 10月4日(金)
・時　間 18:00～18:10
・会　場 八戸まちなか広場 マチニワ

○本公演

・実施日 ①10月4日(金)１８：００～２１：００
②10月5日(土)１８：００～２１：４０
・会　場 いわとくパルコ本館2階、男山ビル3階・4階、ジャスマック3階、ダンディ、みろく横丁中央広場、ガーデンテラス、八戸まちなか広場 マチニワ
・出　演 五十嵐ゆうや(ダンスパフォーマンス)、un-pa(ローピングパフォーマンス)、KANTA(和太鼓)、清水宏(スタンダップコメディ)、セ三味ストリート(肉体派津軽三味線パフォーマンス)、鷹島姫乃(ポールダンス)、DANCE WAG(ジャズダンス)、Honoka(コントーション)、MICHInoX(演劇)
・参加者 約2,130名(2日間)
・主　催 酔っ払いに愛を実行委員会
・共　催 八戸市(八戸ポータルミュージアム)
・後　援 NHK青森放送局、RAB青森放送、青森朝日放送株式会社、株式会社青森テレビ、株式会社八戸テレビ放送、めんこいテレビ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、株式会社エフエム青森、コミュニティラジオ局BeFM、八戸商工会議所、株式会社まちづくり八戸、一般財団法人VISITはちのへ、八戸中心商店街連絡協議会
・協　力 八戸横丁連合協議会
・協　賛 南部電機株式会社、ムーンプラザ、オリエンタル酒販株式会社、三八五タクシー、株式会社ライケット、八戸液化ガス株式会社、みろく横丁株式会社、大松たばこ店、株式会社類家大学堂薬局、株式会社なら弥、株式会社フォトセンター惣門、三八五観光株式会社、八戸タクシー株式会社、株式会社七洋、クラブシャングリラ、鳥将、西や、メガネの玉屋、八戸らーめん専門屋台 味のめん匠、サロンドギリコ



市民活動支援事業

市民公募型ライブ事業

2021年度まで「ストリート投げ銭ライブ」を水曜日に実施、2023年度まで「はっちパフォーマーバンク」を設け登録制での音楽活動の支援を土曜日に行っていた。2024年度からは「はっちFRIDAY LIVE！」とし、音楽活動だけでなく、ダンスや大道芸などジャンル問わず、ライブパフォーマンスを行える方を対象に出演者を市内外から公募し、ライブを実施した。

■はっち FRIDAY LIVE！

令和6年度は9回開催。マチニワ特別公演を含めて、出演者は21組となった。タイトルどおり「金曜日」18時からに開催日時をそろえることで、認知度と集客力を高めた。昨年度までは19時開演だったが、1時間早めて開催したところ、常連の方だけではなく、はっちで初パフォーマンスの方にも多く出演いただけた。

〇はっち通常公演
・会　場　はっち1階 はっちひろば

①7月19日（金） 18:00～19:00
・出　演　EVEKEY（ゴスペルピアノ弾き語り）
　　Ray（バルーンパフォーマンス）
・来場者　45人

②10月18日（金） 18:00～19:00
・出　演　MIKUMA（アコースティック演奏）
　　GOSPERS ＆ GST合同ゴスペル隊（ゴスペル）
・来場者　30人

③11月15日（金） 18:00～19:00
・出　演　Music☆Party（エレクトーン＆大正琴）
　　小田桐 努（弾き語り）
・来場者　25人

④12月20日（金） 18:00～19:00
・出　演　チョーリップ（「チューリップ」カバーバンド）
　　竹林文和（ギター弾き語り）
・来場者　40人

⑤2025年2月7日（金） 18:00～19:00
・出　演　南 豊（おもしろ実験ショー）
　　ぢ・おせロ（アコースティックコピーバンド）
・来場者　30名

⑥2025年3月7日（金） 18:00～19:00
・出　演　坂本サトル
・来場者　85名
※公募無しの特別公演

⑦2025年3月21日（金） 18:00～19:00
・出　演　高橋諒太（アコースティックギター弾き語り）
　　Smile（歌＋踊り（日本舞踊））
・来場者　35名

〇マチニワ特別公演
・会　場　まちなか広場マチニワ ステージ

①8月24日（土） 13:30～15:30
・出　演　マハナさとみフラ＆ハワイアンスタイルウクレレ教室
　　ハーラウ カマーラマヒヴァアロハ（フラダンス）
　　黒かもめアンサンブル（クラリネットアンサンブル）
　　ツルとカメ（アコースティック演奏・弾き語り）
　　VITERAS（ベリーダンス・打ダンス）
・来場者　40名
※学生優先で公募

②9月20日（金） 18:00～19:30
・出　演　猿楽・小林源治 デュオ（ピアノ＆打楽器デュオ演奏）
　　グランディール音楽団（管楽器演奏）
　　蒼井サキ（ラップ・ポップス）
・来場者　35人
※「八戸横丁月間 酔っ払いに愛を 横丁オンリーユーシアター2024」開催PRライブ（19:30～20:10）と合同実施

市民活動支援事業
はっちがずっぱど南部弁

郷土史家・故　正部家種康さんの命日（2012年12月6日）を南部弁の日と定め、当南部地方で育まれてきた言語である南部弁の魅力を再発見し、後世まで使い続けるための機会を創出する取り組みとして実施している。恒例となっているトークショーや昔話の朗読に加え、俊文書道会によるパフォーマンスと新たにミニ歌謡ショーを実施。見て聞いて南部弁に親しむ日となった。

■2024正部家種康氏を偲んで 第12回南部弁の日
はっちがずっぱど南部弁　～うん、これァよごあんすナ～

■第1章　南部弁で遊ぶびゃ～笑うびゃ～

- **○ ボランティア書道教室　俊文書道会**
  「オラの南部弁書ぎ初め」
- **○ 昭和の街は南部弁であふれていた**
  「街にかざりたい南部弁をみつけよう！」
- **○ 森のおとぎ会 「街のおとぎ会」**
- **○ いまどきの若者（わげもの） ミニ歌謡ショー**

・実施日　12月1日（日）
・時　間　12:00～16:00
・会　場　はっち1階 はっちひろば
・出　演　十日市秀悦、瀬川さとし、大地球、正部家光彦、中島美華、あどばるーん（新山大、小野ますのぶ）、古屋敷裕太、真理奈、森のおとぎ会、南部弁が好ぎな仲間っこ

■第 2 章　爆笑バトルトーク
○なぜ若者（わげもの）は南部弁を使わなくなったのか？
「いるのが？、いらねのが？」

・実施日　12月1日（日）
・時　間　16:30～18:00
・会　場　はっち2階 シアター2
・出　演　十日市秀悦、瀬川さとし、大地球、正部家光彦、中島美華、あどばるーん（新山大、小野ますのぶ）、古屋敷裕太、真理奈、森のおとぎ会、南部弁が好ぎな仲間っこ、高校生三人組（斎藤希、ほか2名）

■プレイベント　俊文書道会の展覧会

ボランティア書道教室俊文書道会の生徒さん 13 名による南部弁書作品約 30 点の展覧会。

・実施日　11月28日（木）～12月2日（月）
・時　間　9:00～21:00 最終日は18:00まで
・会　場　はっち2階 ギャラリー2

マチニワ賑わい創出事業

マチニワに何度でも訪れたくなる、賑わいと憩いの場としてさまざまな企画を実施。暮らふとマーケット2024に合わせて実施した「ダンボール迷路＆積み木であそぼ！」は暮らふとマーケットに訪れた方との相乗効果で賑わいを創出した。

さくら野百貨店との共催で舞妓さんの京舞披露など、訪れた人と音楽やパフォーマンスとの偶然の出会いを演出し、マチニワ内で自由に過ごしながら音楽とパフォーマンスを楽しむ雰囲気をつくりだした。

■ダンボール迷路＆積み木であそぼ！

ダンボール迷路、積み木、人工芝生を設置し、誰でも気軽に立ち寄り遊べる空間を提供した。

・実施日　①11月23日（土）10:00～18:00
　　11月24日（日）10:00～17:00
　　②2025年2月1日（土）10:00～15:00
　　2025年2月2日（日）10:00～15:00

○「積み木であそぼう！」

はちのへホコテンに合わせ積み木、人工芝生を設置し、誰でも気軽に立ち寄り遊べる空間を提供した。

・実施日　5月26日（日）
・時　間　10:30～16:00

■「さくら野百貨店八戸店　大京都展連携企画『マチニワに舞妓さんがやってきた』」

さくら野百貨店八戸店の『大京都展』のために来八した舞妓さんによる京舞披露。平日であったが多くの観客が訪れた。

・実施日　①5月29日（水）②5月30日（水）
・時　間　①14:00～、
　　15:15～、
　　16:30～
　　②10:00～、
　　11:30～、
　　13:30～
・出　演　雛帆（ひなほ）
・共　催　さくら野百貨店
　　八戸店

■大型ビジョンで季節の合唱・合奏を発表しよう！

市内の保育園・幼稚園から大学のクラス・部活・サークルによる季節の合唱や合奏動画を募集し、大型ビジョンで放映した。

・実施日　10月25日（金）～2025年3月31日（月）
・放映数　5本
・出　演　認定こども園マリアンハウス幼稚園、認定こども園第二さえずりの森、認定こども園さめ保育園、八戸小中野幼稚園

■マチニワピアノ

2019年12月より、ピアノをマチニワ2階に設置。市民が自由にピアノ演奏を楽しみ、音楽に親しめる環境を提供している。

■マチニワ大道芸2024

プロパフォーマーによるナイトショーと、大学生も加わったデイショーを開催。パフォーマーがさくら野百貨店を回遊し市民とのふれあいを楽しんだほか、弘前大学のサークルが初出演、中学生ボランティアが受付を担当するなど、学生の活躍の場も広がった。

・実施日　①6月8日（土）　18:00～20:00
　　②6月9日（日）　10:00～16:40
・出　演　おじゃるず、チクリーノ、紙磨呂、Monta、un－pa、チャタ、弘前大学大道芸サークルMocha
　　岩手大学　岩手ストリートパフォーマンスクラブ　ispc

○大道芸体験ひろば

公演の間に大道芸（マジック、ディアボロ・皿回し、バルーン）を体験できるコーナーを設け、プロパフォーマーと大学生が講師を務めた。

・実施日　6月9日（日）

中心街イベント連携

中心市街地が歩行者天国になる「はちのへホコテン！」では、館内ものづくりスタジオが出店。フードの提供のほか、ワークショップを実施するなど、まちなかイベントとともに中心街を盛り上げた。

■はちのへホコテン！

・実施日　5月26日（日）、6月30日（日）、8月31日（土）、
　　9月29日（日）、10月20日（日）

・時　間　11:30～15:30
　　（交通規制は11:00～16:00）
　　※8月のみ16:30～20:30
　　（交通規制は16:00～21:00）

マチニワイベント支援事業

中心街の賑わい創出と回遊性の向上に資するイベントの開催を支援し、中心街をはじめとする地域経済の活性化を図るため、マチニワを会場とした飲食・物販イベントの施設使用料を減免し、その開催を支援した。

■事業概要

・支援対象者
八戸市内に店舗又は事業所等を有する事業者を含む、恒常的な営業の実態があり飲食・物販等を行う事業者。

・対象イベント
以下の内容すべてに当てはまるイベント
①マチニワで開催される飲食・物販等の販売促進を伴うイベントであること。
②上記支援対象者が3者以上の共同により開催するイベントであること。
③原則、マチニワ全面を使用して行うイベントであること。
④不特定多数が参加できるイベントであること。

■実施イベント

中心街の賑わい創出や地域経済の活性化のため、対象期間中に多くの事業者がこの事業を利用し、飲食、ステージイベントを組み合わせた催事で賑わいを創出した。

・イベント実施件数　19件　※実施イベント一覧は下表

No.	イベント名称	実施日	来場者数
1	歌と踊りのわくわくステージといいもの市	6月20日(木)	500 人
2	あおもりの地酒　SUMMER FES in 八戸　2024	7月5日(金)	400 人
3	着物をタンスに眠らせていたらもったいない！2024 黒留会	9月23日(月・祝)	200 人
4	第5回三日町感謝の夕べ	9月25日(水)	200 人
5	ヴァンラーレ八戸　マチニワ秋祭り	9月28日(土)	2,000 人
6	第 12 回日本全国地酒で乾杯	10月1日(火)	450 人
7	脳卒中と秋祭り	10月14日(月・祝)	500 人
8	ヘルスケアチェックデー	10月21日(月)	100 人
9	tette	11月3日(土)	1,000 人
10	ヘルスケアチェックデー	11月13日(水)・14日(木)	220 人
11	RAB　八戸ラジオ番組　感謝祭	11月16日(土)・17日(日)	500 人
12	クリスマスマーケット	12月1日(日)	800 人
13	冬の美と健康フェスティバル	2025年1月22日(水)	70 人
14	はちのへあつあつ大集合	2025年1月22日(水)	70 人
15	冬の健康フェスティバル	2025年2月13日(木)・14日(金)	50 人
16	ヴァンラーレ八戸 2025 シーズン開幕パブリックビューイング	2025年2月23日(日)	1,800 人
17	美と健康フェスティバル	2025年3月5日(水)・6日(木)	70 人
18	美と健康フェスティバル	2025年3月29日(土)	70 人
19	歌と踊りのわくわくステージ	2025年3月30日(日)	300 人

貸館事業

市民のみなさんの活動･交流の場となっている貸館事業。はっちを利用して、さまざまな催し物を開催しており、毎年恒例のイベントもある。

1F　はっちひろば　（179㎡）

３階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。

1F　シアター1　（126㎡）

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを完備しており、講演会・作品展示などに利用されている。

1F　ギャラリー1　（65㎡）

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター１と組み合わせた利用も可能。

2F　シアター2　（141㎡）

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備され、ライブ・演劇などに利用されている。

2F　ギャラリー2　（37㎡）

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた作品展示におすすめのスペース。

3F　ギャラリー3　（44㎡）

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた作品展示におすすめのスペース。

3F　和のスタジオ・八庵（はちあん）　（22㎡）

炉を備えた32畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせた利用も可能。お茶席・日本舞踊のお稽古・展示会などに利用されている。

3F　音のスタジオ　（18㎡）

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習などに利用されている。

4F　食のスタジオ　（53㎡）

IH コンロ・コンベクションオーブンをはじめとした、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映せるカメラとモニターも設置。

5F　共同スタジオ　（166㎡）

100㎡の多目的スペース。大人数でのワークショップなどに利用されている。

5F　レジデンス　（各室 42～46㎡）

5室の多目的スペース。アーティストが滞在していないときは、少人数の会議・セミナー、趣味サークルなどに利用されている。

○館内の利用状況
（2024年4月～2025年3月）

スペース	稼働率※
はっちひろば	56.1%
シアター１	73.7%
シアター２	70.4%
ギャラリー１	95.5%
ギャラリー２	55.9%
ギャラリー３	29.0%
和のスタジオ	49.3%
音のスタジオ	124.2%
食のスタジオ	32.5%
共同スタジオ	47.5%
レジデンス	89.5%

※４時間以下の利用を 0.5 日、４時間を超える利用を１日として換算

暮らし学アカデミー事業

私たちの暮らしに身近な事柄について学び、その体験や学びを通して新たな価値観を発見することで、暮らしをより生き生きと豊かにすることを目的としたアカデミーを2021年度から開始。
毎月1～2回程度の基幹講座のほか、大人に教えてみたいことがある小学生から高校生を募集し、講師になってもらう特別企画を実施している。今年度は八戸市他課との連携企画も複数実施した。

■男の裁縫デビュー教室

日常生活で必要になる、手縫いを教わる全3回の連続講座。参加者の古着をテディベアにリメイクする過程でボタン付け、ほつれ直し、まつり縫いを学んだ。

・実施日　①5月17 日(金)　②6月14日(金)
　　③7月12日(金)
・時　間　10:00～12:30
・会　場　はっち4階　和布工房　aya
・講　師　和布工房　aya
・料　金　4,000円
・参加者　2名

■季節の野菜たっぷり♪カンタンおうちごはんを作ろう！

カンタンに作れて栄養満点の料理講座。ホタテの炊き込みご飯、いちご煮ご飯、鯖缶と青菜のディップ、野菜とチキンの粉チーズ焼き、いがめんちを一緒に調理し、指定野菜についても教わった。

・実施日　①6月26日(水)　②6月29日(土)
・時　間　14:00～16:00
・会　場　はっち4階　食のスタジオ
・講　師　中村陵子(野菜ソムリエプロ、フードツーリズムマイスター、あおもり食命人)
・料　金　2,000円
・参加者　①5名　②3名

■山車の制作者にお話をお聞きしよう

マチニワに展示中の山車の制作責任者である、はちのへ山車振興会の石橋元平さんを講師に招き、山車の場面などについて説明を聞いた。

・実施日　8月11日(日)
・時　間　①11:00～11:40　②13:30～14:10
・会　場　マチニワ
・講　師　石橋元平
・参加者　①15名　②16名
・協　力　はちのへ山車振興会

■山車飾りを作ってみよう

小学生～大学生を対象に展示中の山車に載せる山車飾り作り講座を開催した。

・実施日　8月12日(月・休)
・時　間　11:00～12:30
・会　場　はっち1階　シアター1
・講　師　石橋元平
・参加者　9名
・協　力　はちのへ山車振興会

■横丁オンリーユーシアター15回記念
八戸さんぽマイスターに学ぶ横丁の魅力

横丁めぐりコースを担当している八戸さんぽマイスターの3人が講師となり、自身の撮影した写真や動画を用いて横丁の魅力・エピソードを紹介した。

・実施日　9月16日(月・祝)
・時　間　14:00～15:30
・会　場　はっち1階　シアター1
・講　師　八戸さんぽマイスター
　　(三浦代表、杉本さん、出川さん)
・参加者　19名

■はっちオリジナル菊人形菊挿し体験＆
制作者にお話をお聞きしよう

はっちオリジナル八幡馬の菊人形に菊挿し体験と、はちのへ菊祭りの菊人形制作者である下崎雅之さんに、菊の歴史や全国の菊人形や八戸の菊人形の作り方などを教わるトークイベントを開催した。

【菊挿し体験】
・実施日　11月2日(土)～4日(月・休)
・時　間　①10:00～11:00　②13:30～15:30
・会　場　①はっち1階　②正面玄関前
・参加者　72名
【お話し】
・実施日　11月4日(月・休)
・時　間　11:00～12:00

・会　場　はっち1階　はっちひろば
・講　師　下崎雅之（鍛冶町菊友会）
・参加者　８名
【完成品展示】
・実施日　11月4日（月・休）～20日（水）
・会　場　はっち1階

■男・本気のパン教室～デニッシュ生地編～
昨年度大人気の、男性のみでパン作りを極める講座のデニッシュ生地編として2回連続講座を実施。昨年度メンバー3人、新メンバー3人が参加した。
・実施日　①11月21日（木）　②11月28日（木）
・時　間　9:30～12:30
・会　場　はっち4階　食のスタジオ
・講　師　管野泰明（アンジェリーナ代表取締役）
・料　金　3,500円（全2回分）
・参加者　6名

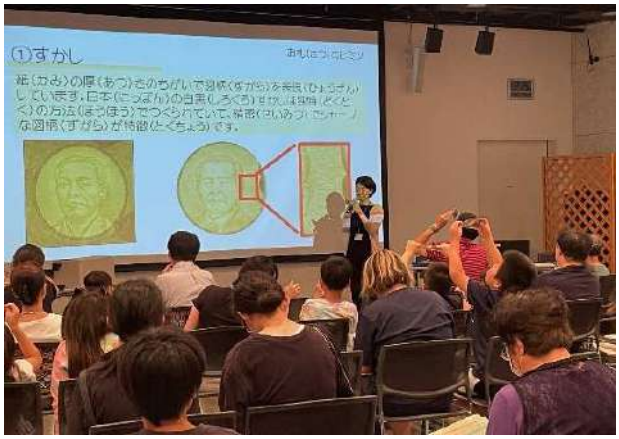
［参加者のみなさんと講師の管野さん（中央）］

■裏側をのぞいてみよう【演劇舞台編①】
パフォーミングアーツ事業で演劇公演を実施するPANCETTAの舞台づくりや稽古を見学する講座を実施。主に照明づくり風景を見学した。（トークなし）
・実施日　①12月5日（木）　②12月6日（金）
・時　間　①18:00～19:00　②15:00～16:00
・会　場　はっち2階　シアター2
・実　施　PANCETTA（パンチェッタ）
・参加者　①9名　②7名

■裏側をのぞいてみよう【演劇舞台編②】
パフォーミングアーツ事業で演劇公演を実施するアトリエ・センターフォワードの舞台づくりや稽古を見学する講座を実施。（トークなし）
・実施日　①2025年2月27日（木）　②2月28日（金）
・時　間　18:00～19:00
・会　場　はっち2階　シアター2
・実　施　アトリエ・センターフォワード
・参加者　①3名　②　2名

■裏側をのぞいてみよう【おもちゃ病院編】
ボランティアグループが運営している「はちのへおもちゃ病院」の活動を見学。インタビューを交えながら、修理の様子を見学した。
・実施日　12月22日（日）
・時　間　10:00～12:00
・会　場　はっち1階　はっちひろば
・講　師　はちのへおもちゃ病院 ドクター
・参加者　7名
・共　催　NPO法人はちのへ未来ネット（こどもはっち）

■消費者講座×暮らし学アカデミー
日本銀行から学ぶお金講座～お札のヒミツ・お札の一生～
日本銀行青森支店　総務課広報担当の3名による紙幣について学ぶ講座を実施。新紙幣の偽造防止技術や、刷られている人物について学んだ。
・実施日　8月8日（木）
・時　間　14:00～15:30
・会　場　はっち1階　シアター1
・講　師　日本銀行青森支店
・参加者　48名
・共　催　八戸市くらし交通安全課



■消費者講座×暮らし学アカデミー
サイバー犯罪対策課プロデュース　「ネット犯罪から身を守るコツ」
インターネット体験や気を付けたいネット犯罪について学んだ。
・実施日　2025年1月31日（金）
・時　間　14:00～15:30
・会　場　はっち1階　シアター1
・講　師　ドコモビジネスソリューションズ
・参加者　21名
・主　催　青森県警察本部サイバー犯罪対策課
・共　催　八戸市くらし交通安全課

■消費者講座×暮らし学アカデミー
シューフィッターから学ぶ足に合った靴選びのポイント
自分の足の形に合う靴選びのポイントを学んだ。
・実施日　2025年3月7日（金）
・時　間　14:00～15:30
・会　場　はっち1階　シアター1
・講　師　株式会社橋文
・参加者　30名
・共　催　八戸市くらし交通安全課

■市民連携推進課　男女共同参画推進室×暮らし学アカデミー
男性チャレンジ講座【料理編】 ナポリタンをつくろう！

料理が初めての方でも分かりやすいように少人数で工程を確認しながらナポリタンを作った。

・実施日　11月17日（日）
・時　間　①10:30～12:00　②13:00～15:00
・会　場　はっち4階 食のスタジオ
・講　師　堀井みさき（食堂トンガリボウヤ 料理人）
・参加者　①4名　②4名
・共　催　八戸市市民連携推進課
・料　金　1,000円
・参加者　8名

■市民連携推進課　男女共同参画推進室×暮らし学アカデミー
男性チャレンジ講座【掃除編】
筋肉掃除～筋トレしてたら家中ピカピカ～

30代～50代男性とその家族・友人を対象に、筋トレや引き締め効果のある掃除方法を紹介し、実践した。

・実施日　2025年1月25日（土）
・時　間　15:00～16:00
・会　場　はっち1階 シアター1
・講　師　西塚丈人（パラエストラ八戸 代表）
・参加者　26名
・共　催　八戸市市民連携推進課

■【特別企画「大人に教えてみたいこと」】

自分の好きなことや特技など、大人に教えてみたいことがある小学生から高校生のこどもを公募し、大人に授業をする特別企画。

①大道芸ディアボロ（中国ゴマ）を体験してみよう

・実施日　9月23日（月・休）
・時　間　14:00～14:40
・会　場　はっち1階 シアター1
・講　師　柄本（つかもと）達郎（八戸市立小中野小学校4年生）
・参加者　20名

②デジタル顕微鏡で見る世界

・実施日　10月14日（月・祝）
・時　間　11:00～11:30
・会　場　はっち2階 シアター2
・講　師　岩城隆俊（八戸市第三中学校1年生）
・参加者　20名

グリーンプロジェクト
はっちグリーンLabo.

植物を身近に感じ、私たちの暮らしに取り入れやすくなるよう、知識や技術を学びながら緑を育む気持ちを育てていくプロジェクト。2024年度は2講座を開催し、庭や畑が無くてもお家でも実践できる工夫を学びながら、年間を通して活動を行った。はっち以外の各主催団体の中心街での活動「花小路フラワーポット寄せ植え大作戦」や中心街「花プロジェクト」にも協力した。

■はっちガーデンお手入れ隊

屋外スペースにある“はっちガーデン” の植替え作業を実施。講師と参加者が“顔見知り”になり、講師への質問や昨年の参加者が今年の参加者に教えたりと参加者同士の会話や協力も増えていった。

①春の寄せ植え

・実施日　5月12日（日）
・時　間　10:30～12:00
・会　場　はっち屋外スペース
・講　師　藤田健二（株式会社みちのく庭園）
・参加者　8名

②秋の寄せ植え

・実施日　10月13日（日）
・時　間　10:30～12:00
・会　場　はっち屋外スペース
・講　師　藤田　健二（株式会社みちのく庭園）
・参加者　4名

■中心街協力事業

①花小路フラワーポット寄せ植え大作戦

・実施日　6月1日（土）
・時　間　10:00～12:00
・会　場　花小路
・主　催　八戸市六日町商店街振興組合、商店街振興組合三日町三栄会、花小路周辺地区まちづくり協議会
・参加者　約45名

②中心街「花プロジェクト」

・実施日　7月14日（日）
・時　間　10:00～12:00
・会　場　三日町と十三日町の街路樹
・主　催　八戸中央ロータリークラブ
・参加者　約30名

■袋栽培でさつまいもを育てて収穫しよう

2階のベランダスペースでさつまいも（紅はるか）を袋栽培を実施。1組2袋を“自分のさつまいも”として植付し、参加者自身でなるべく水やりや誘引などの世話をして育て、成長の様子も実感いただいた。秋には収穫を行い、来年も袋栽培ができるように根の処理や保管方法も学んだ。

①植付け

・実施日　5月19日（日）
・時　間　10:30～12:00
・会　場　2階ベランダスペース
・講　師　農業経営振興センター
・参加者　10組（20名）

②収穫

・実施日　11月3日（日）、4日（月・休）、9日（土）
・時　間　10:30～12:00
・会　場　2階ベランダスペース
・参加者　9組（19名）　※3日間合計

［ 中心街協力事業　中心街「花プロジェクト」 ］

はっち放送部

はっち館内の賑わい創出と放送スタジオの活用促進、放送や情報発信に携わる新たな人材育成による市民活動の活性化を目的として、令和5年度より放送や情報発信に興味のある高校生以上の学生を毎年度募集し、「はっち放送部」を結成。ラジオ番組制作など、はっち放送部員のやってみたいことを株式会社ビーエフエムの協力も得ながらカタチにしていく参加者主導型プロジェクト。令和6年度は八戸の都市伝説に着目し、「サイカチの木」にまつわる伝説を調査。部員が直接取材した調査結果を基にラジオドラマ制作にも挑戦した。

参加人数･･･16人 （前年度6人）

■ラジオ番組 「はっち放送部は昔コを語りたい！」

八戸の昔コと都市伝説に興味を持ったはっち放送部員が知名度の低い「サイカチの木」の伝説に着目。調査したところ複数の伝説があることが判明。番組は伝説の調査報告と調査結果に基づくラジオドラマ：令和昔コ「超地域密着型幽霊 サイカチさん」の2本立て。コミュニティラジオ放送局BeFMにて下記の3回オンエアされた。（はっち YouTube にも掲載中）

①2025年3月5日（水） 21：00～21：30
②2025年3月7日（金） 15：00～15：30
③2025年3月8日（土） 14：30～15：00

■主な活動内容

7 月	企画ミーティング（2回）
8 月	3班に分かれて「サイカチの木」の伝説を取材
9 月	ラジオドラマ制作ミーティング
10月	ドラマ脚本制作開始
12月	ドラマ配役決めミーティング、ドラマの収録
1 月	トークの収録、編集作業開始
2 月	ラジオ番組完成
3 月	BeFMにてオンエア（3回）

手しごと関連事業

天羽やよい展　―名もなき南部女に捧げる刺しの花―

地域の文化資源である伝統工芸の価値の再発見と幅広い市民層への関心喚起を狙いとし、南部菱刺しの歴史と造形美を現代的感覚で魅せる展覧会と関連イベントを開催した。南部菱刺しの職人として全国的にも高い評価を受けている、青森県伝統工芸士・天羽やよいの作品を介して南部菱刺しの歴史に触れることで、八戸・南部の地が培った豊かな暮らしの知恵が優れた造形文化として誇れることを知る機会を創出した。

■天羽やよい展　―名もなき南部女に捧げる刺しの花―

・実　施　日　　9月14日（土）～9月29日（日）
　　※閉場日　火・水曜日
・時　　間　　10:00～17:00
　　※金・土曜日は19:00まで
・会　　場　　はっち2階　シアター2
・来場者数　　2,410名（会期中12日間）

■関連イベント

○トークイベント「刺しが教えてくれること」

天羽が近年の制作や青森で刺し続けることで感じた菱刺しのことなどを語る作家トークイベントを開催。

登壇　天羽やよい（南部菱刺し制作者・青森県伝統工芸士）
進行　伊多波麻衣子（八戸ポータルミュージアム学芸員）
・実施日　9月21日（土）
・時　間　13:30～15:00
・会　場　ギャラリー2
・参加者　38名

○南部菱刺しアカデミックトーク　「八戸と南部菱刺し～用の美の魅力について」

東北の民藝運動から南部菱刺しの歴史的・造形的な意義を探るトークイベントを開催。

登壇　川守田礼子
　　（八戸工業大学　感性デザイン学部　感性デザイン学科　教授）
　　伊多波麻衣子（八戸ポータルミュージアム学芸員）
・実施日　9月22日（日）
・時　間　13:30～15:00
・会　場　シアター1
・参加者　53名

暮(く)らふとマーケット　2024

さまざまな「ひと・こと・もの」との出会いや交流が生まれ、「暮らし」について目を向けることで八戸の暮らしをより楽しむきっかけとなるクラフト市を実施。全国から公募で集まるクラフト作家と、中心商店街の暮らしに関する商品を取扱う個店、キッチンカーが出展。また、マーケットの開催に合わせ、出展者のスキルアップを図り、横の関係を築くため、出展者同士が互いの展示の工夫などを学ぶ交流会を行った。

・実施日　①11月23日(土・祝)　②11月24日(日)
・時　間　①11:00～18:00
　　②10:00～17:00
・場　所　はっち1階シアター1・ギャラリー1・はっちひろば・はっちコート周辺・番町スクエア・2階シアター2・ギャラリー2・4階 リビング4・マチニワ風の広場・番町スクエア
・出　展　65組
　デザイン工房エッセ、cocoPri、moopy、あるほなつき書店、赤い鳥、梵良窯、手織りmano、くらふと宮野、井上麻菜美、さゆら、みやの工作、Snow hand made、カモシカ窯、ennju、jyurakusha17 ban-chi、ユキコレ、ポエジア、NATURE-FLOW、obo glass、humeur、DOUSEN・村田康二、いのうえ製作所、木工房からん、栗のこみち窯、Amone、sow雑貨店、K131、KUB、NULL PRIME、澤丈間、たゆや、クラフト5つの銅貨、環窯、MAISON PELOUSE、kikidon、南部菱刺し 西野刺しっ娘の会、工房天羽、陶工房のぼう、Butterfly Rose、こぎん刺しTomokogin、京都鞄店小野正人、Y・U CANDLE、atelier tsucum、Ruru by C-style、Eka Jewelry、カタル葉、ghostplant leather works、coton、Yumi Collection、ナチュールマーレンTate、Felice、陶工房しゅうと、衣とうつわ手の國、5m COFFEE、櫻屋、ており工房 みちのく、PEROTEA'S CAFE、Chacco、猫神様スイーツ CawaCaffe、ArtMarket＊、BE SMILE、ボンボネーラ、meli-melo、Haru Haru crepe、UKAの実

ものづくりスタジオ支援事業

ものづくりスタジオ入居者支援のため、ものづくりスタジオを広く紹介するチラシの制作や館内表示などを活用した広報活動を行うとともに、イベントへの臨時出店を行った。さらに2024年度は、クリスマス・お正月などシーズンイベントに合わせた企画を実施しPRチラシを制作することで、はっち全体で季節感を演出しながら、館内テナントの周知及び売り上げ増に繋げることができた。

■七夕まつり・三社大祭での軒下出店

七夕まつり及び三社大祭開催時に、はっち正面玄関の軒下(カフェスペース前)へ臨時出店を行った。

・実施日
　七夕まつり　7月12日(金)、13日(土)、14(日)
　三社大祭　7月31日(水)、
　　8月1日(木)～4日(日)
・時　間　各イベントの開催時間に準ずる
・会　場　はっち1階　軒下(カフェスペース前)
・出　店　七夕まつり　6店舗
　KANEIRI Museum Shop、地酒カフェはちのへ、CHEESE DAY、たまに庵、very berry+、おもちゃハウスくれよん
　三社大祭　7店舗
　KANEIRI Museum Shop、地酒カフェはちのへ、CHEESE DAY、たまに庵、very berry+、おもちゃハウスくれよん、ひつじの夢工房

■シーズンイベントでの期間限定セール等の実施

クリスマスやお正月にちなんだイベントを開催、各イベントにちなんだ商品や期間限定割引紹介のチラシを制作した。また、季節感のあるBGMを期間中館内に流したほか、統一感のある装飾品を各店に配置し、館内全体で雰囲気を盛り上げた。

・実施日　クリスマスウィーク　12月14日（土）～23日（日）
　　福袋市　2025年1月2日（木）～5日（日）
・時　間　各テナントの開店時間に準ずる
・会　場　各テナント
・参　加　11店舗
　Cafe＆Bal Roast（福袋市のみ）、KANEIRI Museum Shop、地酒カフェはちのへ（クリスマスウィークのみ）、CHEESE DAY、たまに庵、very berry+、工房「澄」、モザイクスタイル、おもちゃハウスくれよん、和布工房aya、ひつじの夢工房

■ものづくりスタジオ入居状況

2024年度
ものづくりスタジオ

フード
地酒カフェはちのへ（地酒・郷土料理）
CHEESE DAY（熟成チーズ専門店）
たまに庵（うどん・そば）
very berry +（フレッシュジュース）
クラフト
工房「澄」（八戸南部裂織）
モザイクスタイル（クラフトタイル）
おもちゃハウスくれよん（手づくりおもちゃ）
和布工房 aya（仕立て直しのお店）
ひつじの夢工房（羊毛作品のお店）

フード＆レストラン

2階・3階に4店舗入居中。ライブイベントなども不定期開催。

地酒カフェはちのへ
八戸の郷土料理や地酒の飲み比べのお店

CHEESE DAY
さまざまな世界の熟成チーズで新しい味との出会いをお手伝い

たまに庵
さっと来て、リーズナブルに食べられる

very berry +
健康と美容を考えたフレッシュジュースやスイーツが楽しめる

クラフトショップ＆アトリエ

4階に5店舗入居中。作品販売のほか創作ワークショップなどイベントも開催。

工房「澄」
伝統技法「地機織り」にこだわった南部裂織グッズの製作・販売

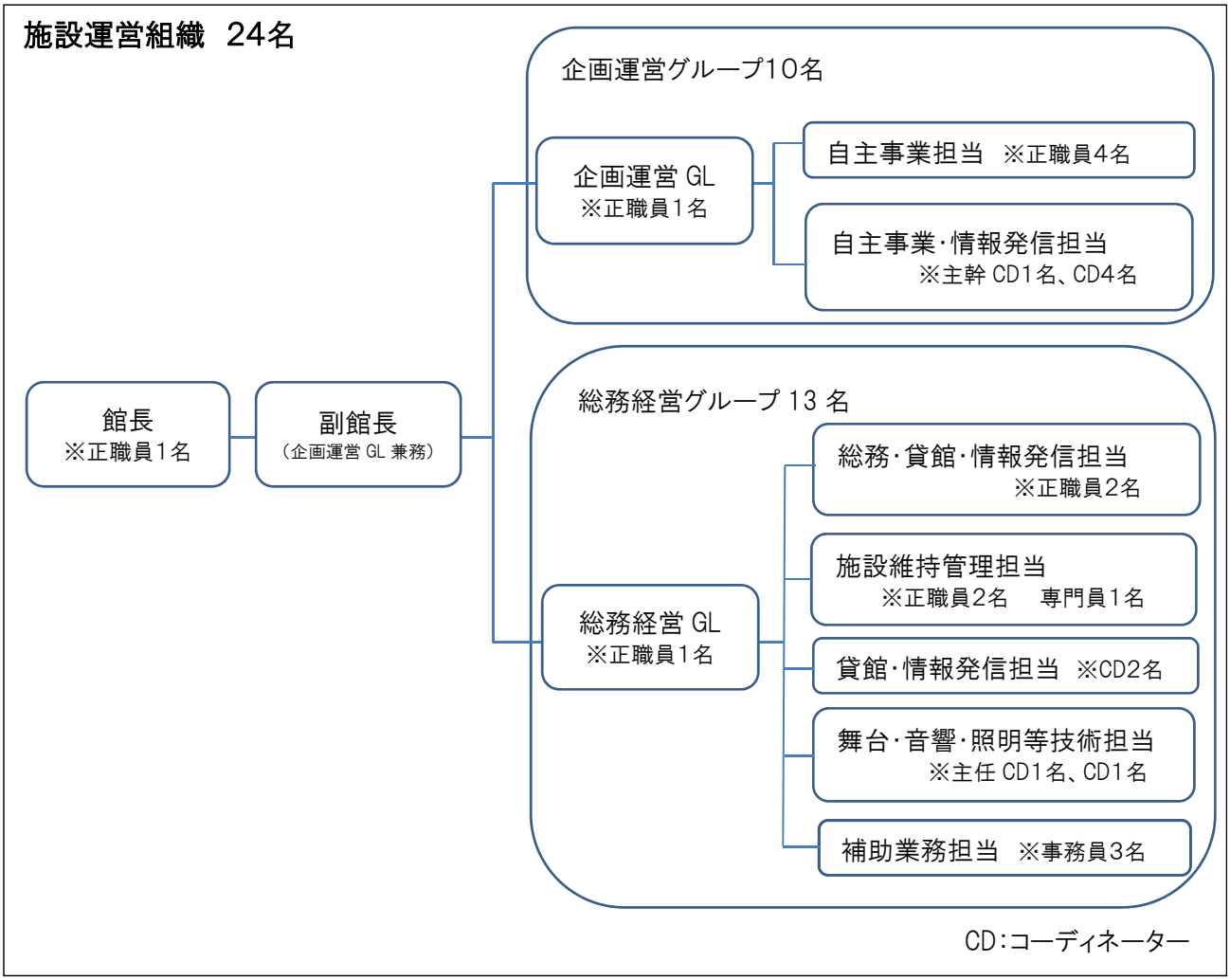
おもちゃハウスくれよん
赤ちゃんが安心して使える布製や木製のおもちゃを販売

モザイクスタイル
暮らしにアートをデザインするインテリアパネルの製作・販売

和布工房 aya
仕立て直しのお店

ひつじの夢工房
羊毛の優しい力を大切な人への贈りものに

八戸ポータルミュージアムの運営体制（令和6年度）



〇館内テナント等　9店舗　（R6.4.1現在）
カフェ（1）、ショップ（1）、ものづくりスタジオ（7（うち飲食3））

〇施設運営のサポーター
・ボランティアガイド
館内展示･イベント案内等　9:00～17:00　常時1～2名

・市民学芸員
館内展示作成、更新協力

〇主な業務委託
・インフォメーション（受託者：一般財団法人 VISIT はちのへ）
・こどもはっち（委託者：八戸市こども未来課　受託者：NPO 法人はちのへ未来ネット）
・その他　舞台技術、警備、清掃

〇その他、主な関係団体
・八戸商工会議所（中心街委員会）
・（株）まちづくり八戸
・中心商店街、横丁連合協議会
・文化協会、文化施設、企業、生産者、学校

八戸ポータルミュージアム決算額（令和6年度）

［歳入］ （単位：千円）

科目			金額
事業に伴う収入	使用料	貸出施設、設備・器具、テナント入居料等	16,336
	その他	財産収入（自動販売機等の建物貸付収入） 諸収入（電気等使用料、社会保険料等）	2,613
一般財源			270,739
歳入合計			289,688

［歳出］ （単位：千円）

科目（主なもの）			金額
人に係る経費	人件費	正職員 11 名、会計年度任用職員13名	122,564
企画運営費	謝礼	イベント出演謝礼等	27,554
	広告料	新聞広告等	
	委託料	イベント運営等委託	
	負担金	酔っぱらいに愛を実行委員会	
施設の維持管理費	光熱水費	光熱水費	139,570
	修繕費	修繕費	
	委託料	警備、清掃、受付案内等	
	使用料及び賃借料		
歳出合計			289,688

八戸まちなか広場決算額（令和6年度）

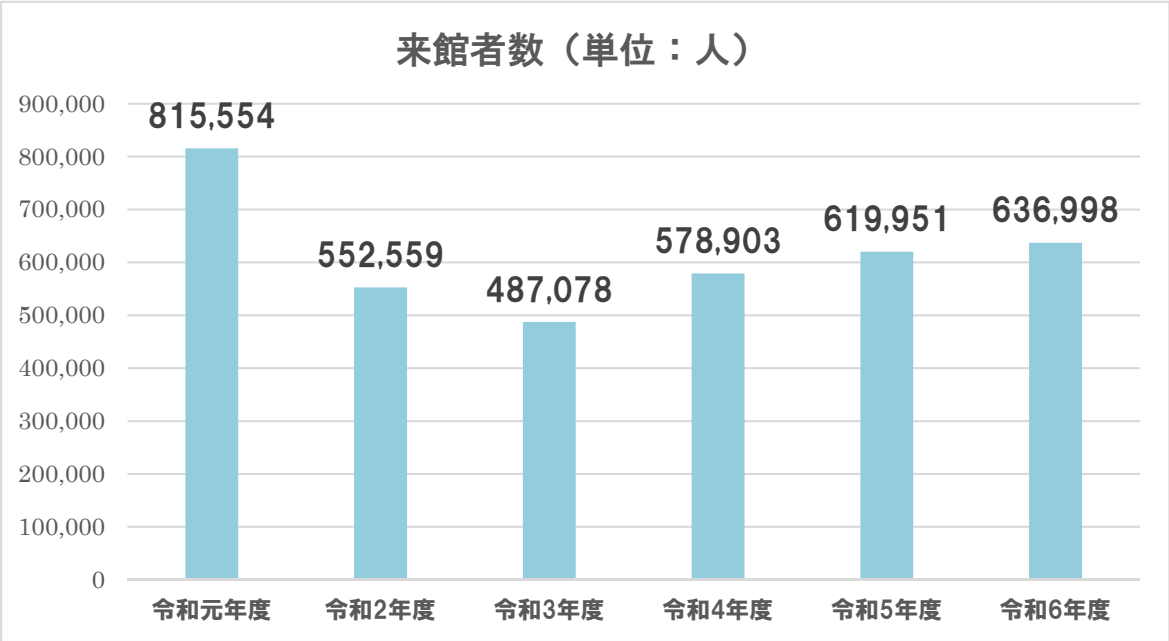
［歳入］ （単位：千円）

科目		金額
事業に伴う収入	使用料	2,361
一般財源		46,605
歳入合計		48,966

［歳出］ （単位：千円）

科目（主なもの）			金額
人に係る経費	人件費	八戸ポータルミュージアム職員兼務	—
企画運営費	謝礼	イベント出演謝礼等	2,348
	委託料	イベント運営等委託	
施設の維持管理費	光熱水費	光熱水費	46,618
	委託料	警備、清掃、設備保守点検等	
歳出合計			48,966

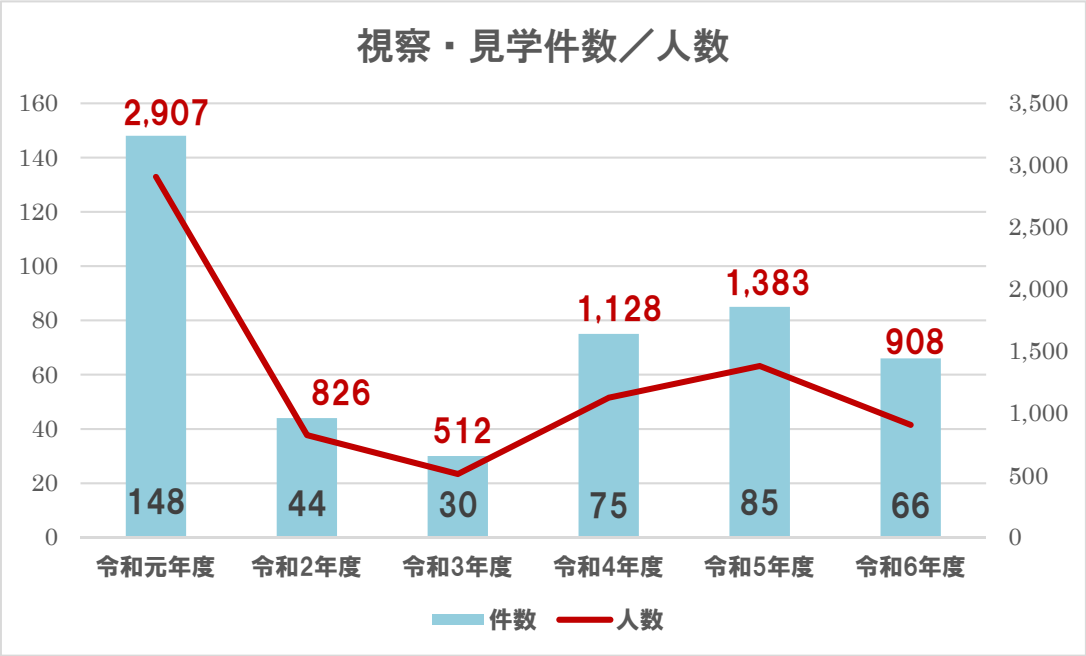
八戸ポータルミュージアム来館者数の推移



開館以来の来館者数推移（単位:人）

年度	来館者数	累計	備考
平成22年度	161, 377	161, 377	平成23年2月11日開館
平成23年度	850, 539	1, 011, 916	
平成24年度	888, 130	1, 900, 046	
平成25年度	963, 247	2, 863, 293	
平成26年度	983, 165	3, 846, 458	
平成27年度	945, 403	4, 791, 861	
平成28年度	943, 339	5, 735, 200	
平成29年度	935, 019	6, 670, 219	
平成30年度	874, 010	7, 544, 229	
令和元年度	815, 554	8, 359, 783	
令和2年度	552, 559	8, 912, 342	4／29－5／10　計12日　臨時休館
令和3年度	487, 078	9, 399, 420	9／1－9／30　計30日　一部開館 1／26－3／21　計55日　臨時休館
令和4年度	578, 903	9, 978, 323	
令和5年度	619, 951	10, 598, 274	
令和6年度	636, 998	11, 235, 272	

八戸ポータルミュージアム視察・見学件数等の推移



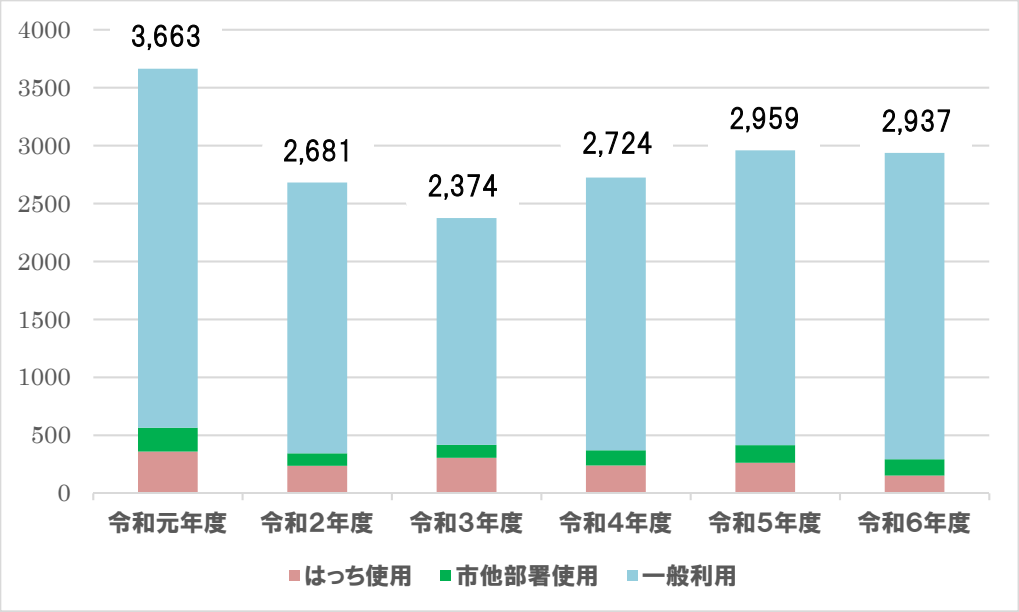
年度ごと件数

受入件数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		148	44	30	75	85	66
	議員	40	6	5	13	19	16
	教育機関等	39	20	11	31	37	24
	国･県･市	16	8	3	11	16	10
	経済団体等	17	9	8	4	5	9
	ほか	36	1	3	16	8	7

年度ごと人数

受入人数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		2，907	826	512	1，128	1，383	908
	議員	323	38	28	99	102	150
	教育機関等	1，187	663	400	767	935	517
	国･県･市	113	50	17	69	203	104
	経済団体等	204	71	54	15	25	33
	ほか	1，080	46	13	178	118	104

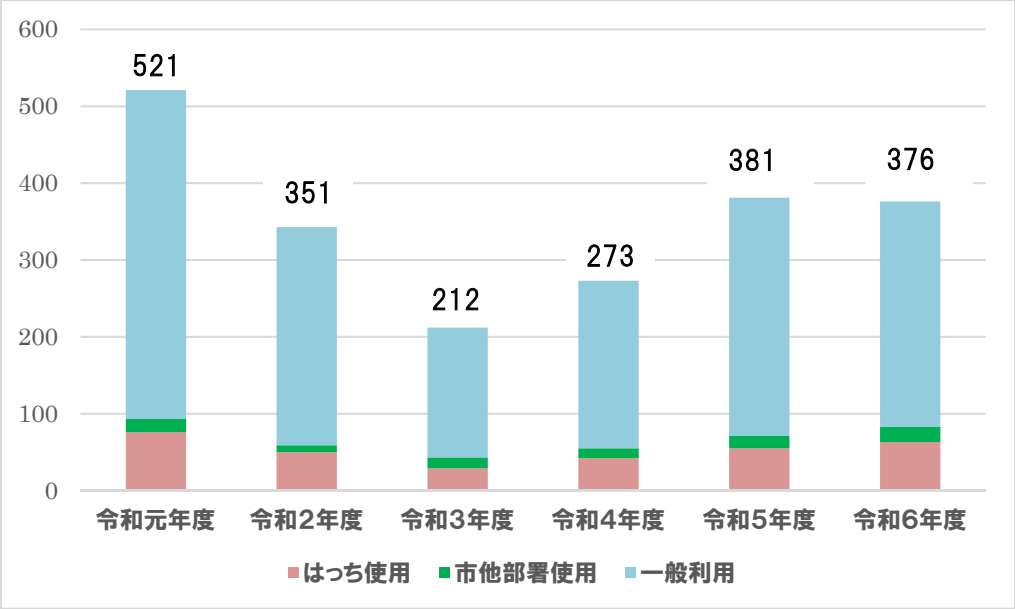
八戸ポータルミュージアム施設利用件数の推移



年度ごと利用件数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数		3,663	2,681	2,374	2,724	2,959	2,937
	はっち使用	360	237	306	240	263	152
	市他部署使用	206	107	112	131	152	142
	一般利用	3,097	2,337	1,956	2,353	2,544	2,643

八戸まちなか広場施設利用件数の推移



年度ごと利用件数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用件数		521	351	212	273	381	376
	はっち使用	76	50	29	42	55	63
	市他部署使用	17	9	14	13	16	20
	一般利用	428	292	169	218	310	293

はっちの年表

2006年	9月	基本構想策定
2007年	6月	基本計画策定
	10月	基本設計策定
2008年	6月	プレ事業スタート
	12月	設計変更
2009年	4月	着工
	8月	愛称「はっち」に決定
2010年	3月	正式名称「八戸ポータルミュージアム」に決定
2011年	2月	はっち開館（2月11日）
	3月	東日本大震災により臨時避難所として運営（3月11日）
		照明学会　照明普及賞受賞
		来館者数161,377人（3月31日）
	7月	八戸レビュウ販売
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前24％増　中心街全体13％増
2012年	2月	開館から1年目の来館者　888,888人（2月11日）
	3月	来館者数100万人達成（3月27日）
		来館者数1,011,916人（3月31日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前89％増　中心街全体33％増
		グッドデザイン賞受賞（八戸レビュウ）
2013年	3月	来館者数1，900，046人（3月31日）
	5月	来館者数200万人達成（5月15日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前101％増　中心街全体24％増
		グッドデザイン賞受賞 （市民が地域づくりに参画できる仕組みプロジェクト）
		第33回東北建築賞受賞
		「日本建築家協会優秀建築選」100選受賞
2014年	3月	来館者数2,863,293人（3月31日）
		文化庁長官表彰受賞（文化芸術創造都市部門）
	4月	マチニワ基本構想策定
	5月	来館者数300万人達成（5月30日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前109％増　中心街全体35％増
		マチニワ活用アイデアコンペ公開プレゼン開催
	11月	第43回デーリー東北賞受賞

2015年	3月	来館者数3,846,458人（3月31日）
		マチニワ整備基本計画策定

	6月	来館者数400万人達成（6月2日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前82%増　中心街全体19%増
	11月	KIBOW 年次大会2015準優勝（まちぐみ）
2016年	3月	来館者数4,791,861人（3月31日）
	4月	第8回ふるさとあおもり景観賞地域づくり活動部門最優秀賞受賞（まちぐみ）
	6月	来館者数500万人達成（6月28日）
		地域創造大賞（総務大臣賞）受賞
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前60%増　中心街全体9%増
2017年	3月	来館者数5,735,200人（3月31日）
		マチニワ着工
	7月	来館者数600万人達成（7月18日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前91%増　中心街全体33%増
2018年	3月	来館者数6,670,219人（3月31日）
	7月	マチニワ竣工
	7月	マチニワオープン（7月21日）
	8月	来館者数700万人達成（8月10日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前59%増　中心街全体22%増
	11月	全映協グランプリ2018 CM キャンペーン部門優秀賞受賞 （88異国プロジェクト）
2019年	1月	第9回地域再生大賞　北海道・東北ブロック賞受賞 （まちぐみ）
	3月	来館者数7,544,229人（3月31日）
	10月	来館者数800万人達成（10月10日）
		中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前57%増　中心街全体12%増
2020年	3月	来館者数8,359,783人（3月31日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前22%増　中心街全体7%減
2021年	3月	来館者数8,888,888人達成（3月19日） 来館者数8,912,342人（3月31日）
	5月	来館者数900万人達成（5月29日）

2021年	10月	あしたのまち・くらしづくり活動賞　総務大臣賞受賞 （まちぐみ）
		中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前51%増　中心街全体14%減
2022年	3 月	来館者数9,399,420人（3月31日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前　71%総増　中心街全体　10%減

2023年	3 月	来館者数9,978,323人（3月31日）
	4月	来館者数1,000万人達成（4月16日）
	10月	中心街の歩行者通行量（2010年比） はっち前　78%増　中心街全体　25%減
2024年	3月	来館者数10,598,274人（3月31日）
	4月	来館者数1,100万人達成（11月10日）
2025年	3 月	来館者数11,235,272人（3月31日）

2024.4－2025.3
八戸ポータルミュージアム はっち の歩み

発行日　令和7年（2025年）8月
発　行　八戸市【八戸ポータルミュージアム】
〒031-0032　青森県八戸市三日町11－1
TEL　0178-22-8228
FAX　0178-22-8808
https://hacchi.jp